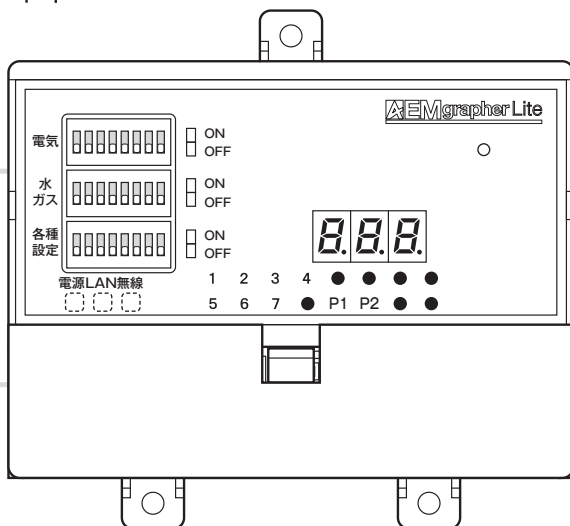


AEMgrapher Lite

施工編

エム グラファ ー ライト

取扱説明書



目次

1. AEMグラファ ー Lite 安全上のご注意	1	14. CT(電流センサ)の取付位置確認	15
2. 注意事項	2	分電盤にリミッタースペースあり(パターン1~13)	15
3. 施工の流れ	3	(北海道・東北・東京・中部・北陸・九州電力管内向け)	
4. 各部の名称・はたらき	4	分電盤にリミッタースペースなし(パターン14~20)	30
5. システム全体概要図【戸建て】	6	(全電力管内向け)	
6. システム全体概要図【マンション/集合住宅向け】	7	分電盤にリミッタースペースあり(パターン21~26)	38
7. 機器本体の施工と取付け配線	8	(北海道・東北・東京・中部・北陸・九州電力管内向け)	
8. 機器本体 配線図①	9	(3電池対応、計測コントローラ2台設置)	
9. 機器本体 配線図②	10	分電盤にリミッタースペースなし(パターン27~32)	45
10. CTの取付方法・配線	11	(全電力管内向け)	
11. 各CTコネクタと計測項目の関係	12	(3電池対応、計測コントローラ2台設置)	
12. 機器本体へのCT接続	13	15. アクアセンサ(水道計測)・ガス計測 配線	52
13. DIPスイッチによる電気設定	14	16. DIPスイッチによる水道・ガス設定	53
		17. アクアセンサ編	54
		• 安全上のご注意	54
		• 量水器BOX設置場所・設置方法	
		アクアセンサ(主幹)BOX設置場所・設置方法(例)	55
		アクアセンサ(主幹)通線用プルボックス取付	55
		• アクアセンサ(主幹)取付・施工	
		アクアセンサ(主幹)姿図	56
		量水器BOX施工	56
		量水器BOX(丸型)施工	56
		18. 工事チェックシート	57
		19. 動作確認	58

施工店様へ
お願い

- 施工前に必ずこの説明書をお読みください。
- この説明書は、取扱説明書(設定編/操作編)とともに必ずお客様にお渡しください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。

因幡電機産業株式会社

環境システム事業部

AEML-施-15-0

1 AEMグラファーLite 安全上のご注意

施工店様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後にこの説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

AEMグラファーLiteをお使いになるご家庭で、人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な事項を記載していますので必ずお守りください。



警告

「死亡や負傷」を負うおそれがある内容です。



必ず守る

施工・点検時には主幹ブレーカを必ずオフしてから作業を行ってください。
(電源が入ったままの施工は感電・火災・故障の原因となります)



禁止

分解・改造をしないでください。
(感電・火災・故障の原因となります)

濡らさないでください。また濡れた手で触らないでください。
(感電・火災・故障の原因となります)

火を近づけないでください。
(タバコ・ローソク・ドライヤーなどを近づけると火災や変形の原因となります)

シンナー、ベンゼンなどをつけないでください。
(洗剤などを使用すると、表面を溶かす事があります)

風呂場など湿気の多い場所には絶対に設置しないでください。
(感電・火災・故障の原因となります)

機器を密閉するような設置はしないでください。
(熱がこもり火災・故障の原因となります)

日本国内でご使用ください。
(AC100V以外で使用した場合、火災・故障の原因となる恐れがあります)



注意

「損害を負うことや、財産の損害」が発生する恐れがある内容です。



必ず守る

AC100V電源線は、指定した電線の被覆の剥きしろを守ってください。
(剥きすぎによる導体の露出や剥き不足による抜けが感電事故の原因になります)

AC100V電源線はコネクタの挿入解除ボタンを押しながら奥まで押し込んで接続してください。
(接続が不完全の場合は抜ける危険があります)

コネクタは確実に接続してください。
(接続が不完全ですと表示できません)

2 注意事項

- ①本機器を使用する場合は必ずルータ(市販品)が必要です。
- ②AEMグラファァーLiteで計測された発電量、使用電力量、水道使用量、ガス使用量のデータは目安となりますので電力会社、水道局、ガス会社からの請求書と一致しません。
- ③ドライヤーや電気ストーブなど使用電流が大きく歪む負荷機器を使用すると正しく計測値を表示できない場合があります。

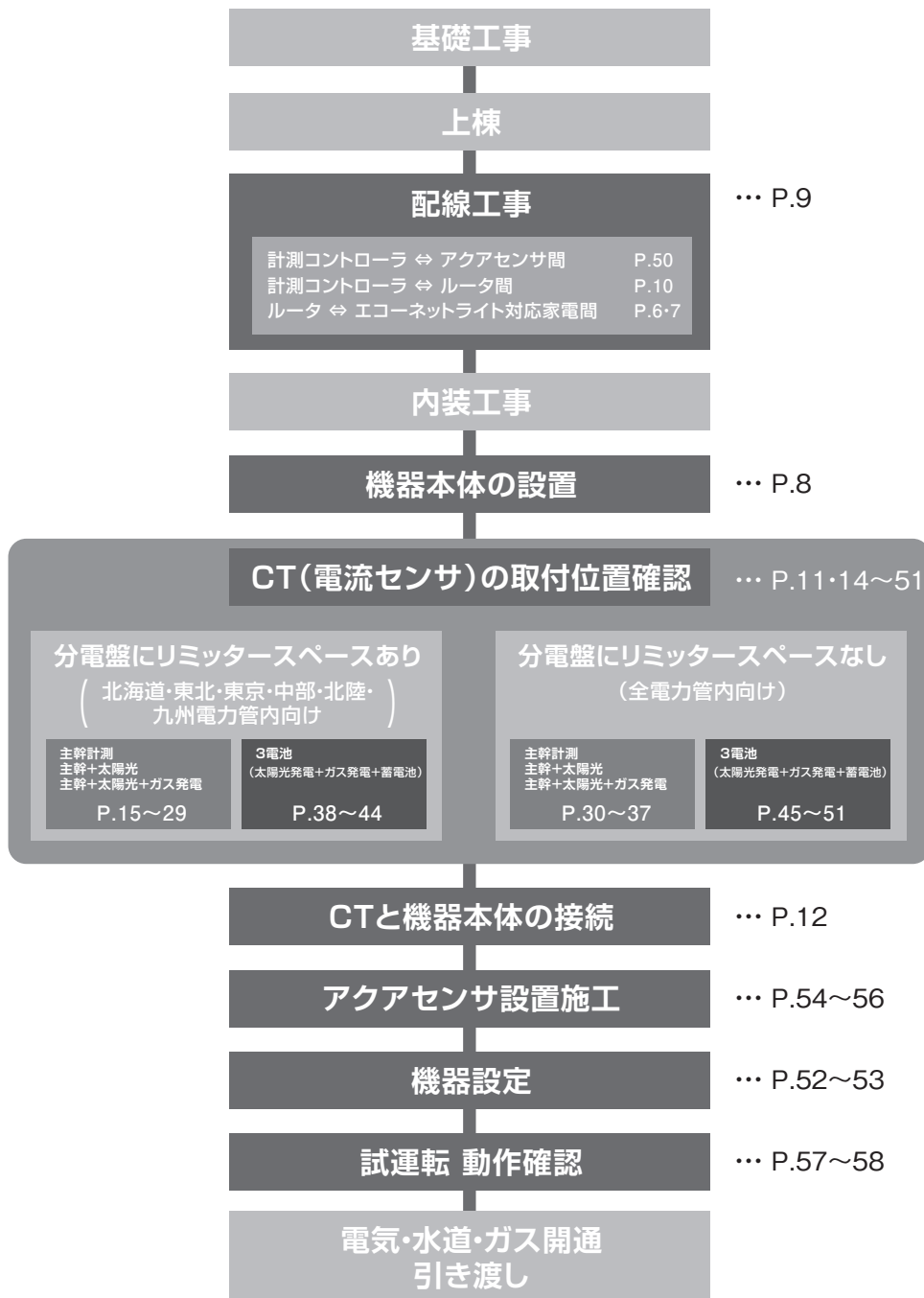
無線LANのセキュリティに関するご注意

- 無線LANのセキュリティに関する設定を行っていない場合、悪意のある第三者による電波傍受、IDパスワードなどの通信内容が盗み見られる可能性があります。また悪意のある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、個人情報の漏えいや通信内容の改ざんなど、不正に侵入される可能性がありますので必ずセキュリティ設定をしてください。
(お客様にて必ずセキュリティ設定を無線ルータ製品の取扱説明書に従い設定をしてください)

設計上の注意

- AEMグラファァーLiteは屋内専用です。屋外では使用しないでください
- 無線LANで使用する場合、電子レンジなどの2.4GHz帯域を使用する機器に近づけると電波ノイズを受け、正常に動作しない場合があります。
- 使用場所では予め動作確認を行ってください。設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に電波確認を行ってください。

3 施工の流れ

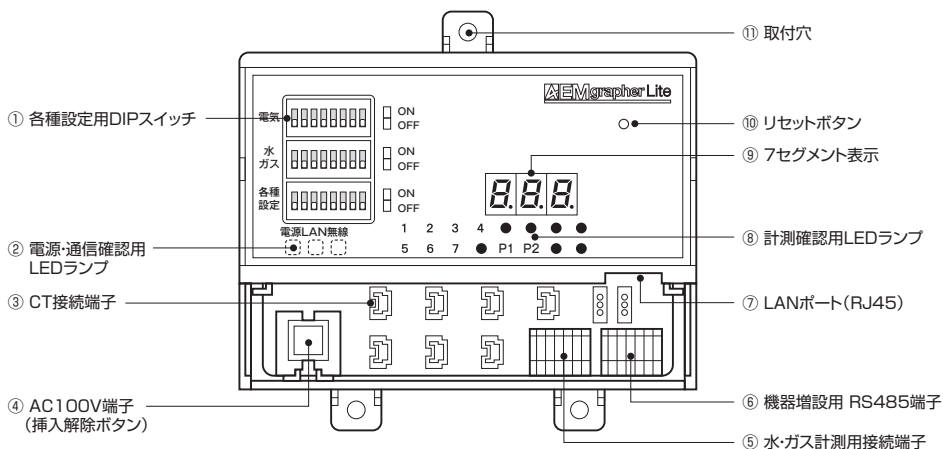


施工に関する注意

- 本装置やCTに強い衝撃を与えたり、落下させた場合は故障のおそれがありますので、使用せずに交換してください。
- CTの2次側線を本装置端子台に接続する際はサービスブレーカまたは漏電ブレーカをOFFにして接続してください。
- CTの2次側線を本装置の端子台に確実に接続してください。
- 取付・保守・点検は電気工事士の資格を有する者が行ってください。
- 本装置を廃棄する場合は産業廃棄物として適切な廃棄をして頂くようお願い致します。また、各地方自治体の条例に従ってください。
- CTの2次側線と電源は、束ねないでください。

4 各部の名称・はたらき

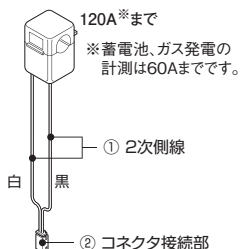
本体（ターミナルカバーを外した状態）



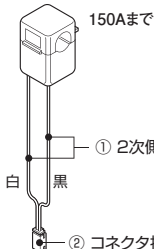
- ① 各種設定用DIPスイッチ : 計測、通信を設定する為のDIPスイッチです。
- ② 電源・通信確認用LEDランプ : 電源や通信状態を示すLEDランプです。
- ③ CT接続端子 : 主幹CT、発電CTなど各CTを接続する端子です。
- ④ AC100V端子 : 機器本体に電源を供給するための端子です。分電盤の分岐回路より電源を供給します。
- ⑤ 水・ガス計測用接続端子 : アクアセンサやパルス付ガスメーターのパルス線を接続するための端子です。
- ⑥ 機器増設用RS485端子 : 計測コントローラ本体を増設する場合に使用します。
- ⑦ LANポート : エコナビランドを利用するために、ルータ(市販品)と接続します。
- ⑧ 計測確認用LEDランプ : 接続したCTが正常に計測できているか確認をするためのLEDランプです。
- ⑨ 7セグメント表示 : エラー内容、IPアドレスなどメンテナンスで必要な項目を表示します。
- ⑩ リセットボタン : 動作をリセットします。
- ⑪ 取付穴 : 機器本体を設置する為のビス穴です。

CT

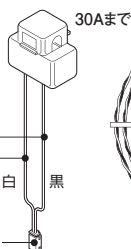
主幹・太陽光発電・ガス発電・蓄電池
計測用CT



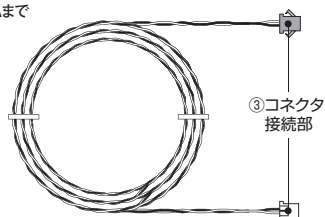
主幹一次
送り用CT



分岐用CT



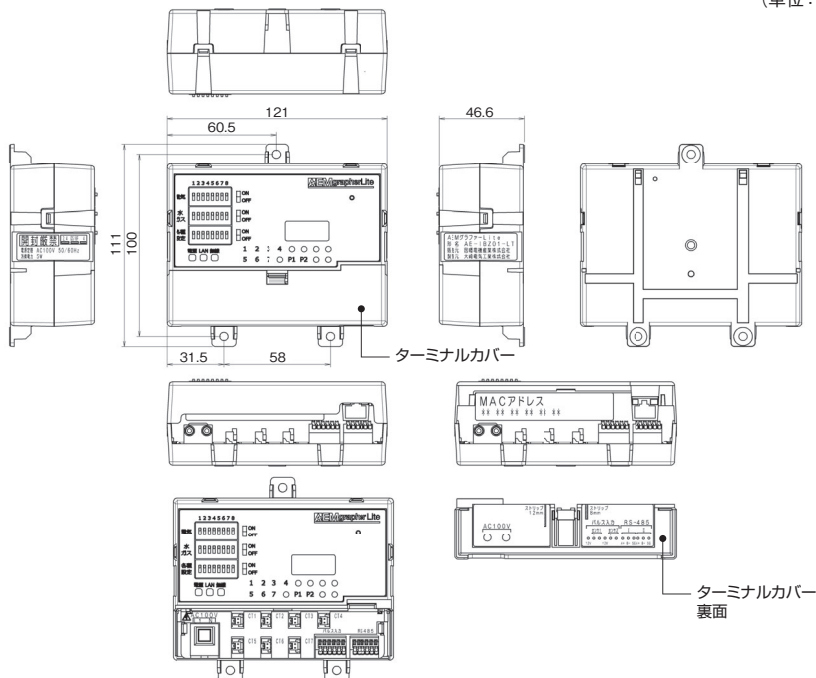
CT延長ケーブル(2m)



- ① 2次側線 : 白、黒の2本電線で、本体の端子台に接続します。
- ② コネクタ接続部 : CT延長ケーブルに接続します。
- ③ コネクタ接続部 : 各CTと計測コントローラに接続します。

本体 寸法図

(単位: mm)



メンテナンスシール

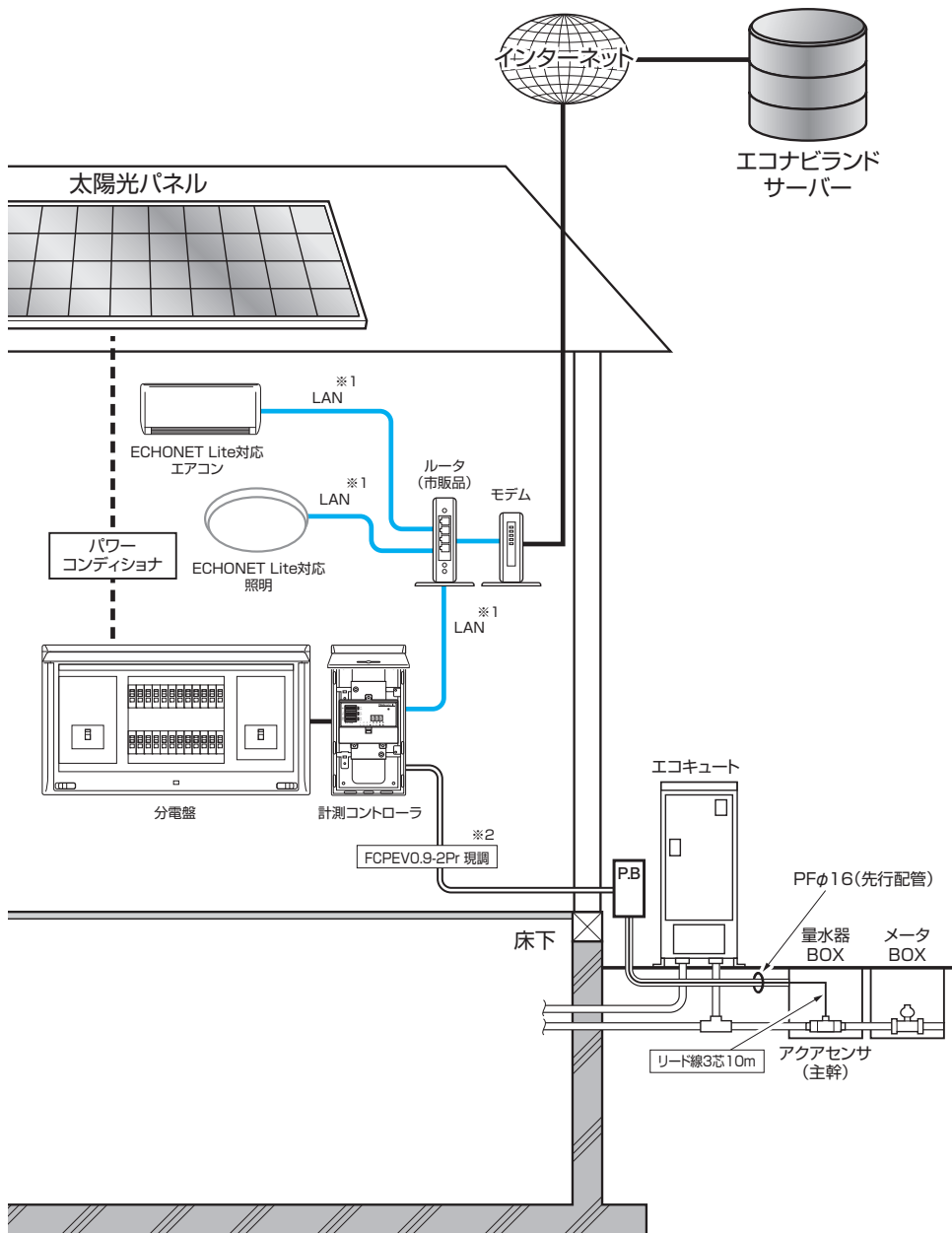
- ターミナルカバーを外した本体前側面に、メンテナンスシールが貼付されています。
- 記載のMACアドレスは、本体設定もしくは操作のためのログイン時のパスワードになります。
- 別冊「取扱説明書 操作編」の表紙に貼付されているシールと同じ内容のシールになります。

シールイメージ

MACアドレス
0004118**.**



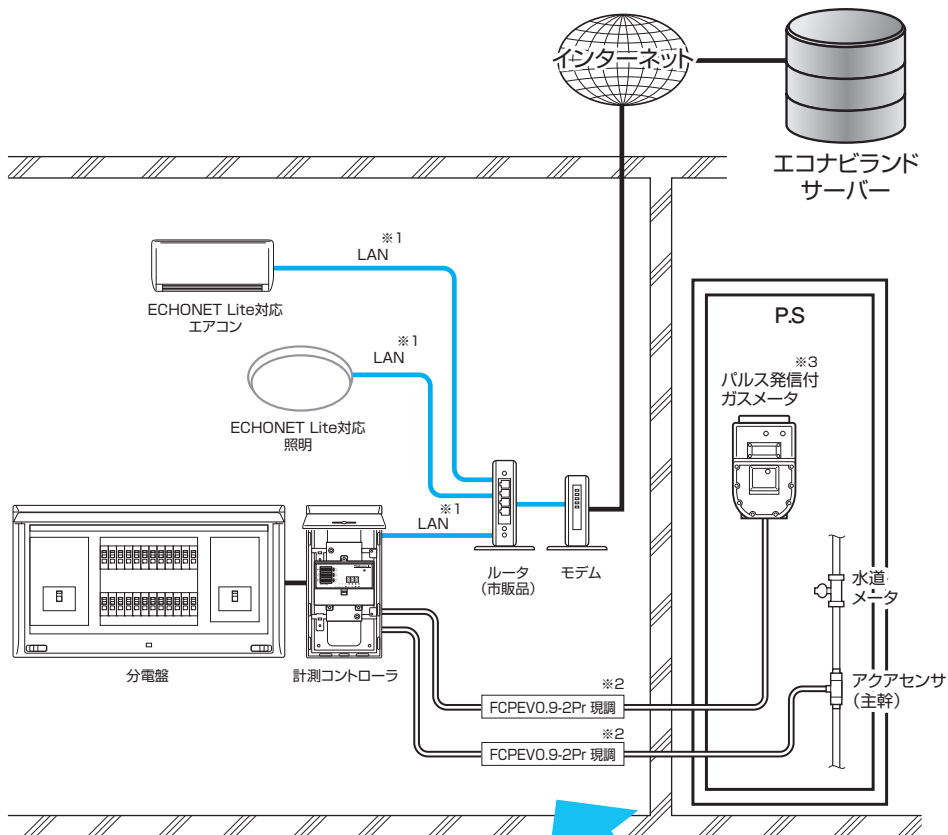
5 システム全体概要図【戸建て】



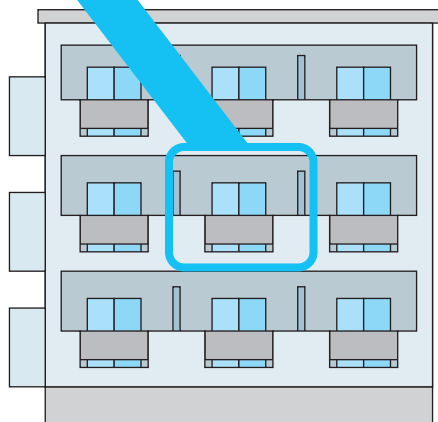
※1 LANケーブルは現地調達にて対応お願い致します。

※2 アクアセンサ、ガス計測でケーブルを延長する場合は、FCPEV0.5-2Pのケーブルを現地調達にて対応お願い致します。

6 システム全体概要図【マンション／集合住宅向け】

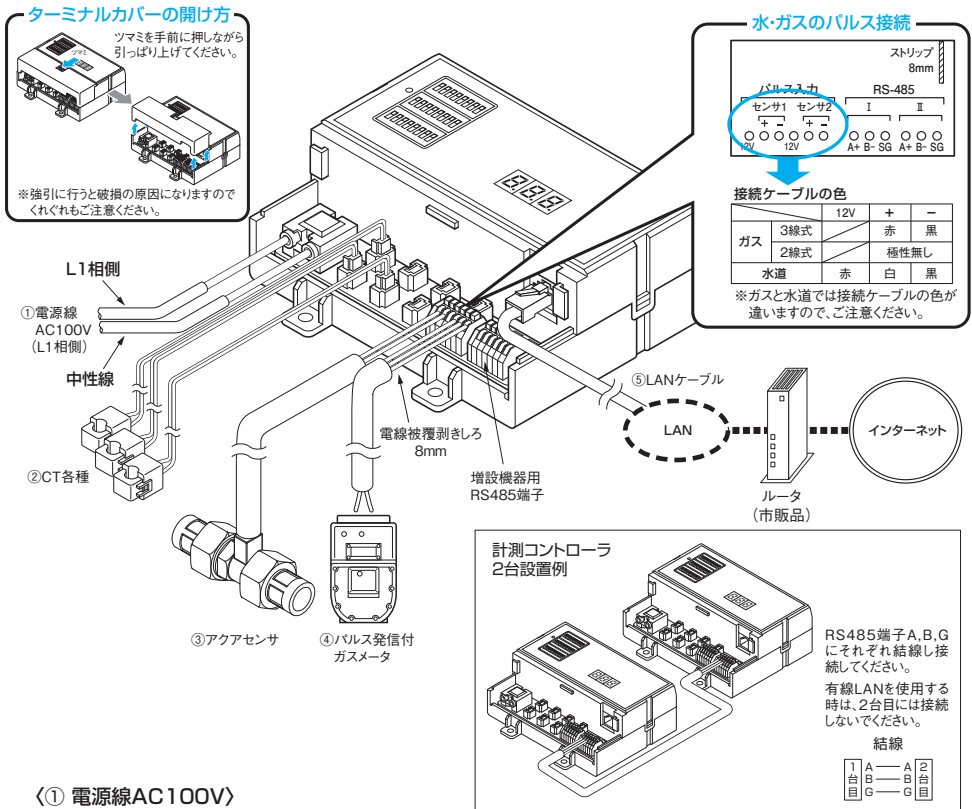


- ※1 LANケーブルは現地調達にて対応お願い致します。
- ※2 アクアセンサ、ガス計測でケーブルを延長する場合は、FCPEV0.5-2Pのケーブルを現地調達にて対応お願い致します。
- ※3 パルス発信付ガスメータは最寄のガス会社に手配をお願い致します。



8 機器本体 配線図①

機器本体 全体配線図



① 電源線AC100V

注意 L1相の電源をご使用ください。

- 電線がコネクタの奥に突き当たるまで差し込んでください。
- 電線を引っ張ってもコネクタから外れない事を確認してください。
- 電線の取り外しは、マイナスドライバー(小)でコネクタの上部にある電源挿入解除ボタンを押してください。
- AC100V電源線は、VVF電線相当(単線φ0.65~2.0)をご使用ください。

② CT 各種

- コネクタが完全に接続されるまで差し込んでください。
- コネクタを引っ張ってもコネクタから外れない事を確認してください。

注意 CTを配線、接続する際は漏電ブレーカを「切」にしてください。
誤って接続した場合は、正しく設定しても計測されません。

③ アクアセンサ

- 電源+12V(赤)、+(白)、-(黒)の配線を マイナスドライバー(小)で接続する端子台の操作ボタンを押しながら電線口の奥に突き当たるまで差し込んでください。

④ パルス発信付ガスメータ

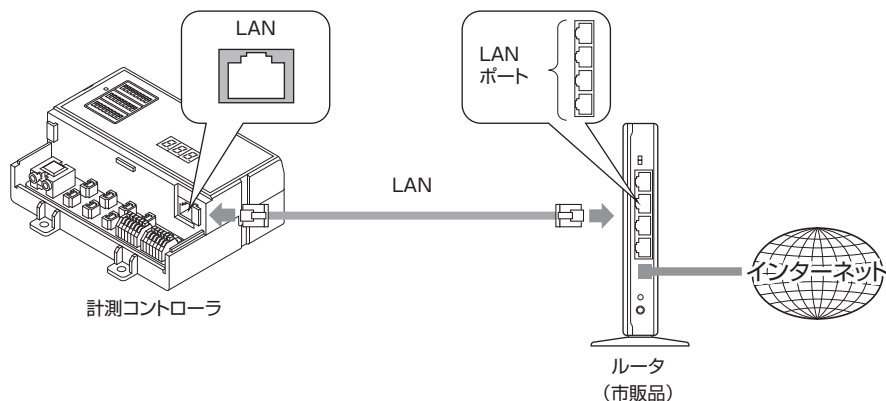
- 2線式の場合 極性は無く、3線式の場合は極性がありますのでガス会社へ仕様を確認してください。
- マイナスドライバー(小)で接続する端子台の操作ボタンを押しながら電線口の奥に突き当たるまで差し込んでください。

注意 誤って接続した場合は、正しく設定しても計測されません。

9 機器本体 配線図②

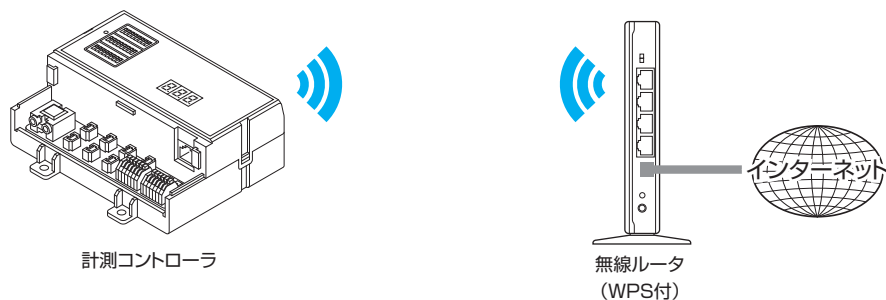
有線LAN接続図

- 計測コントローラのLANポートとルータ(市販品)のLANポートを有線LAN(Cat5e)で接続します。
- 計測コントローラとルータ(市販品)間はΦ16CD管を敷設しLAN配線をしてください。
- ルータ(市販品)と終端装置の配線についてはルータ(市販品)の施工マニュアル、および終端装置のマニュアルを参照ください。
- ブーツ(カバー)付のLANケーブルはご使用になれません。



無線LAN (Wi-Fi) 設置図

- 無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合は、IEEE 802.11b,gに対応した無線ルータ(WPS付)をご用意ください。
- WPSにも対応しています。

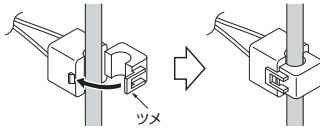


10 CTの取付方法・配線

CT接続図

- 計測用CTの表面には、電流の流れる方向に「K→L」(電源側から負荷側)と書かれています。計測用CTは電流の流れる方向を確認して取り付けてください。
- 計測用CTケーブルへの接続は下図のように正しく取り付けてください。

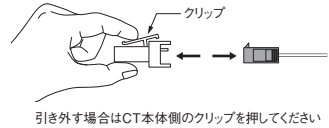
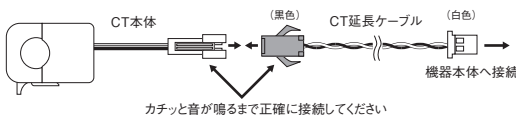
注意 誤って接続した場合は正しく計測できません。



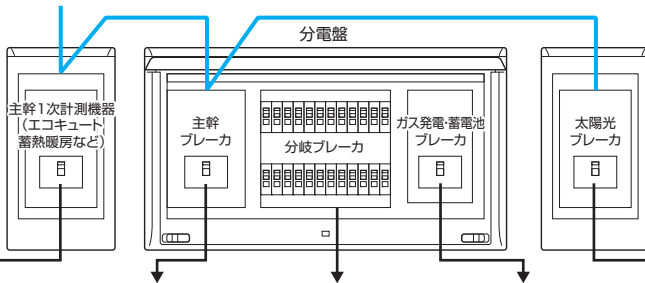
「パチッ」と音がするまで挟み込んでください。取付方向に注意してください。

注意 ツメを持ち上げ過ぎるとツメが破損する場合がありますのでご注意ください。

CT本体とCTケーブルの接続について



各ブレーカへのCTの取付け図



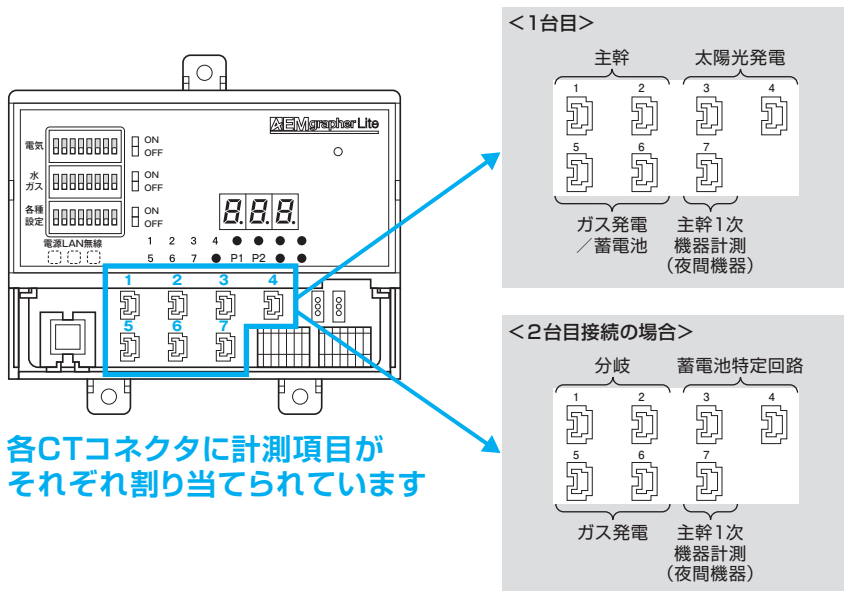
	エコキュート・蓄熱暖房等 増設ブレーカ	主幹ブレーカ	分岐ブレーカ	ガス発電・蓄電池 ブレーカ	太陽光ブレーカ (単2連系)
CT取付図	<p>電力メーター側</p> <p>赤 白</p> <p>エコキュートなどの機器側</p>	<p>電力メーター側</p> <p>赤 白 黒</p> <p>分岐ブレーカ側</p>	<p>黒</p> <p>負荷側</p>	<p>電力メーター側</p> <p>赤 白 黒</p> <p>ガス発電・蓄電池側</p>	<p>電力メーター側</p> <p>赤 白 黒</p> <p>太陽光発電側</p>
	取付線	赤	赤(L1) 黒(L2) ※2個のCTに区別はありません。	黒	赤(L1) 黒(L2)
取付方向	極性なし (方向関係なく計測します)	極性あり (K→L 電力の流れに合わせ てCTの矢印を合わせて てください)	極性なし (方向関係なく計測します)	ガス発電：極性なし (方向関係なく計測します) 蓄電池：極性あり (K→Lの蓄電池放電の流 れに合わせてCTの矢印 を合わせてください)	極性なし (方向関係なく計測します)

11 各CTコネクタと計測項目の関係

各CTコネクタ番号に予め割り当てられている計測項目について

本コントローラのCT接続コネクタにはそれぞれ主幹、太陽光発電、ガス発電などメインで計測する項目が割り当てられています(下記表参照)。

また、太陽光発電計測やガス発電などメインの計測をしない場合、その箇所を分岐回路計測として使用できます。



■ 計測コントローラ1台目

CTコネクタ番号	メイン計測	メイン計測しない場合
1	主幹計測L1	分岐100V
2	主幹計測L2	
3	太陽光発電(単2、単3)	
4	太陽光発電(単3の場合のみ使用) / 単2の場合は分岐100V	
5	ガス発電L1 / 蓄電池L1	
6	ガス発電L2 / 蓄電池L2	
7	主幹1次計測(エコキュート、蓄熱暖房など)	

※ CTコネクタ番号5、6は、3電池計測の場合、蓄電池計測がメインとなります。

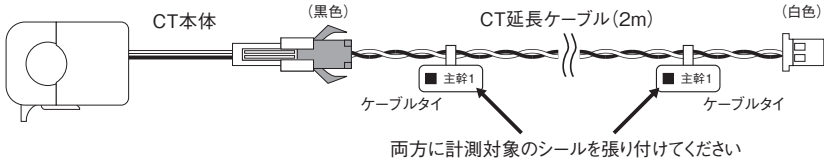
■ 計測コントローラ2台目

CTコネクタ番号	メイン計測	メイン計測しない場合
1	分岐計測100V	分岐100V
2	分岐計測100V	
3	蓄電池特定回路	
4	蓄電池特定回路	
5	ガス発電L1	
6	ガス発電L2	
7	主幹1次計測(エコキュート、蓄熱暖房など)	分岐200V

12 機器本体へのCT接続

分電盤にCTを取り付けたあと、延長ケーブルのケーブルタイに同梱の「CTケーブルインデックスシール」を貼り付け、計測コントローラ本体に接続します。

【例：主幹1 (L1)接続CT】

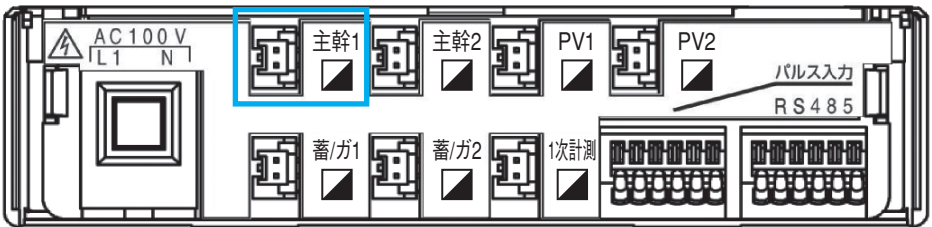


〈同梱シール〉

CTケーブルインデックスシール								
■ 主幹1	■ 主幹2	■ 太陽光	■ 太陽光	■ 蓄電池1	■ 蓄電池2	■ ガス発電1	■ ガス発電2	■ 1次計測
■ 主幹1	■ 主幹2	■ 太陽光	■ 太陽光	■ 蓄電池1	■ 蓄電池2	■ ガス発電1	■ ガス発電2	■ 1次計測
□ 分岐1	□ 分岐2	□ 分岐3	□ 分岐4	□ 分岐5	□ 分岐6	□ 分岐7	□	□
□ 分岐1	□ 分岐2	□ 分岐3	□ 分岐4	□ 分岐5	□ 分岐6	□ 分岐7	□	□

ケーブルタイに計測対象のシールを張り付けた後、計測コントローラのCTコネクタに接続します。必ず「計測対象名」と「色」を確認し、接続してください。

〈計測コントローラ本体 CTコネクタ部〉



主幹1 主幹2

■ ■ ⇒ 白(分岐)/緑(主幹) のどちらか接続できます。分岐は30Aまで、主幹は120Aまで計測できます。

PV1 PV2

■ ■ ⇒ 白(分岐)/緑(太陽光) のどちらか接続できます。分岐は30Aまで、太陽光は120Aまで計測できます。

蓄/ガ1 蓄/ガ2

■ ■ ⇒ 白(分岐)/青(蓄電池/ガス発電) のどちらか接続できます。分岐は30Aまで、ガス発電、蓄電池は60Aまで計測できます。

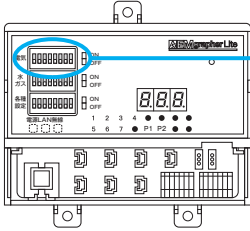
1次計測

■ ■ ⇒ 白(分岐)/赤(主幹1次) のどちらか接続できます。分岐は30Aまで、主幹1次計測は150Aまで計測できます。

13 DIPスイッチによる電気設定

電気設定用DIPスイッチについて

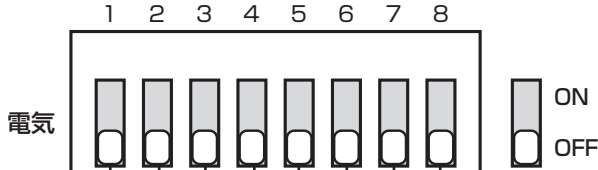
各CTを本体のCTコネクタに接続した後、電気設定用DIPスイッチで 太陽光発電計測の有無や、ガス発電計測の有無など設定を行います。



電気設定用DIPスイッチ(上段)

それぞれ1～8番には設定する項目内容が下記対応表のように割付されており、ON/OFFの切り替えで設定を行います。

DIPスイッチの設定確認については P.15～の施工パターンに合わせて記載しています。



	1	2	3	4	5	6	7	8	
1 台目	主幹計測	太陽光 発電計測	太陽光 連系種類	太陽光 買取	ガス発電 ／蓄電池計測	ガス発電 蓄電池計測 選択	主幹1次計測	主幹1次計測 の計測値	ON
	あり	あり	単3連系	全量買取	あり	ガス発電	する	主幹に 含める	ON
	なし	なし	単2連系	余剰買取	なし	蓄電池計測	分岐回路 200Vを計測 する	主幹に 含めない	OFF
2 台目	分岐計測	—	蓄電池 特定回路	特定回路 種類	ガス発電	—	主幹1次計測	主幹1次計測 の計測値	ON
	あり	—	あり	特定回路 1φ3W	あり	—	する	主幹に 含める	ON
	あり	—	なし	特定回路 1φ2W	なし	—	分岐回路 200Vを計測 する	主幹に 含めない	OFF

⚠️注意 3電池計測など2台設置する場合、1台目と2台目の設定内容が異なりますのでご注意ください。スイッチの切り替えで鋭利なドライバーを使用するとスイッチ部が破損する恐れがあります。

14 CT (電流センサ) の取付位置確認

分電盤に リミッタースペースあり (北海道・東北・東京・中部・北陸・九州電力管内向け)

■ 太陽光余剰買取

パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	主幹1次接続機器 200V	掲載 ページ
		100V	200V						
1	○	○	○	—	—	—	—	—	16
2	○	○	—	—	—	—	—	○	17
3【単2連系】	○	○	○	○	—	—	—	—	18
3【単3連系】	○	○	○	○	—	—	—	—	19
4	○	○	—	○	—	—	—	○	20
5	○	○	○	○	○	—	—	—	21
6	○	○	—	○	○	—	—	○	22
7	○	○	—	○	—	○	—	○	23
8	○	○	○	○	—	○	—	—	24

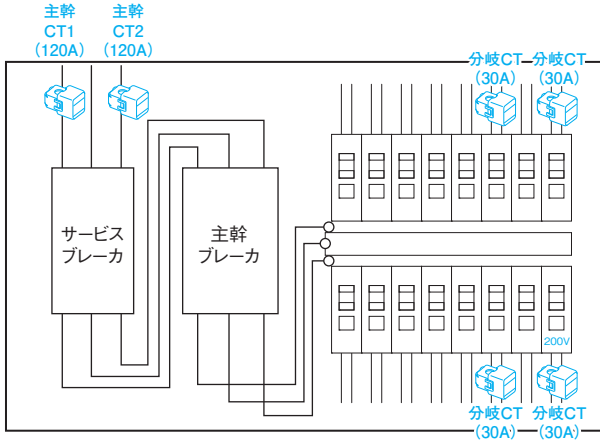
■ 太陽光全量買取

パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	主幹1次接続機器 200V	掲載 ページ
		100V	200V						
9	○	○	○	○	—	—	—	—	25
10	○	○	—	○	—	—	—	○	26
11	○	○	○	○	○	—	—	—	27
12	○	○	—	○	—	○	—	○	28
13	○	○	○	○	—	○	—	—	29

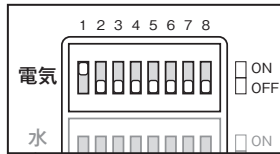
○ 計測可能

パターン 1

■ 主幹+分岐

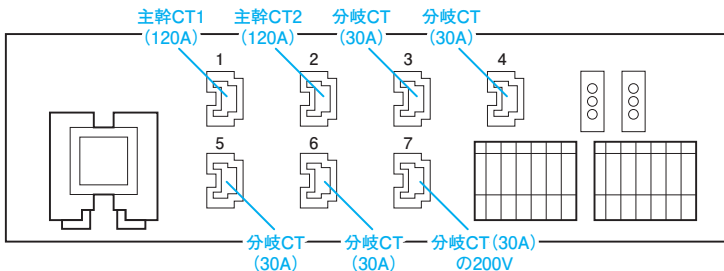


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

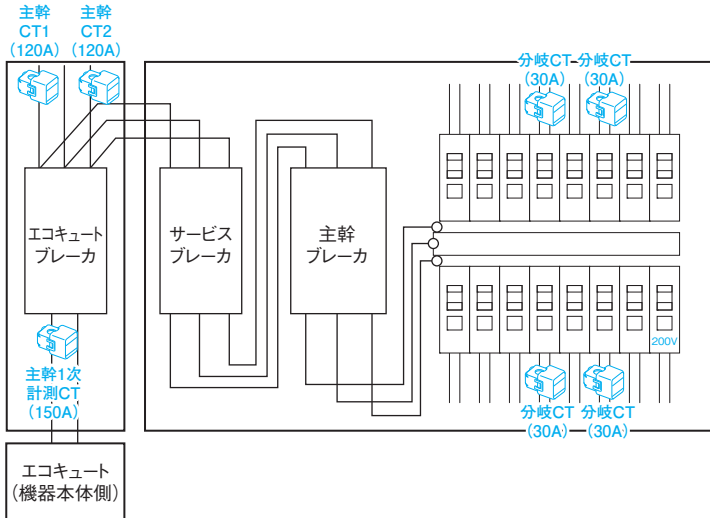
注意 • 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。



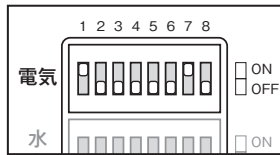
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 2

■ 主幹+分岐+主幹1次計測機器(200V)

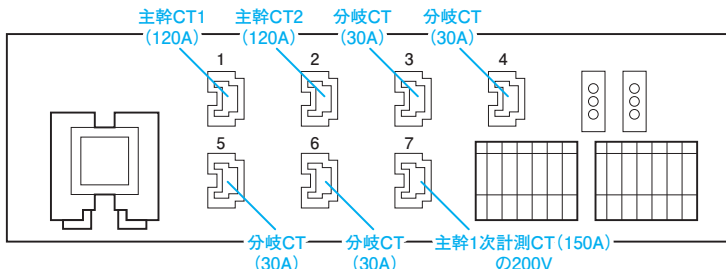


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。
- 主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。分岐計測は100V回路のみとなります。

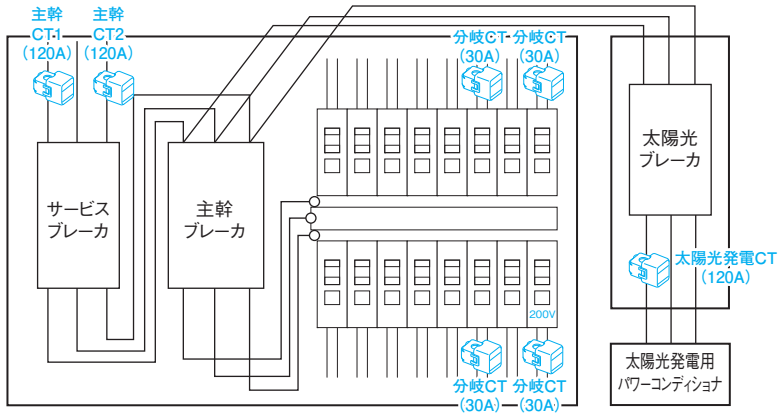
⚠ 注意 • 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。



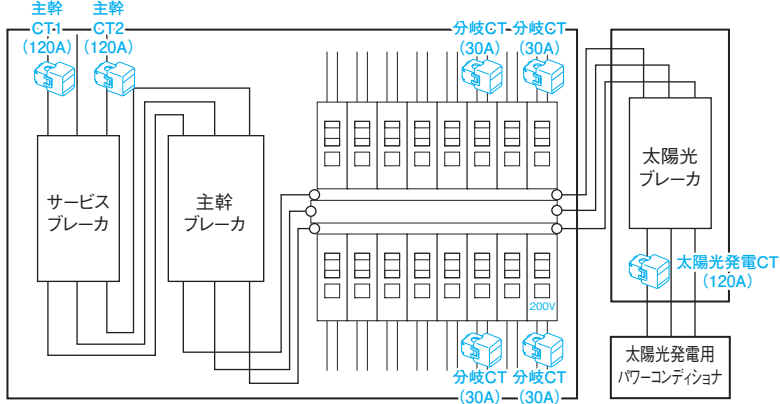
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 3 【単2連系】

■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電1次側接続



■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電2次側接続

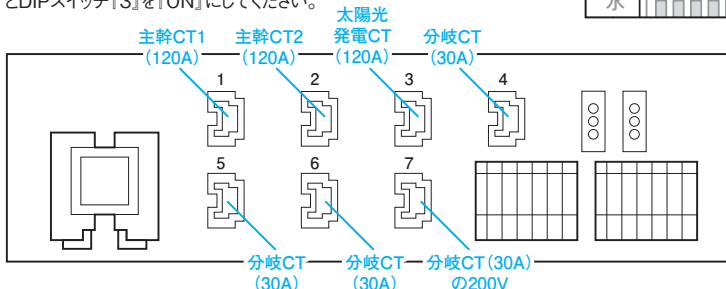
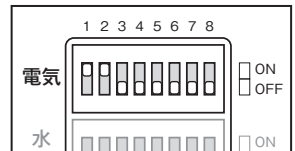


- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

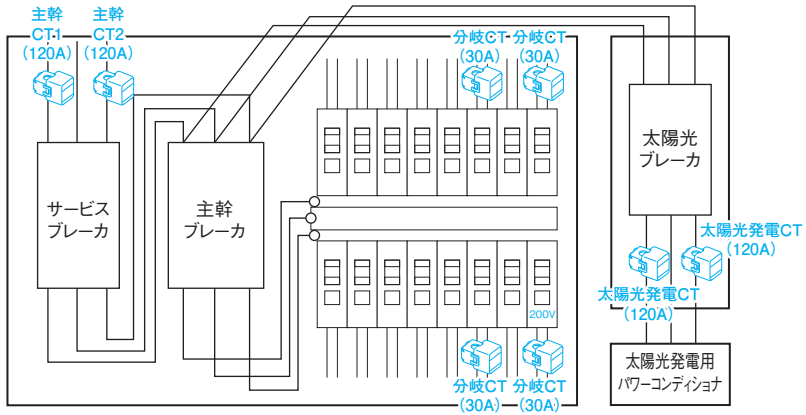
DIPスイッチ図



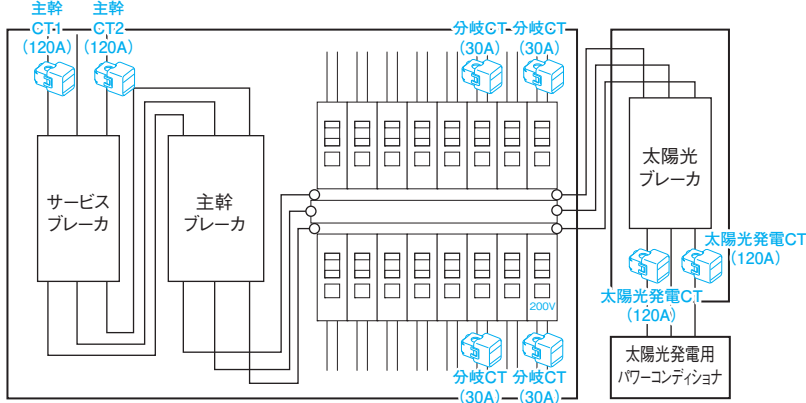
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 3 【単3連系】

■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電1次側接続



■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電2次側接続

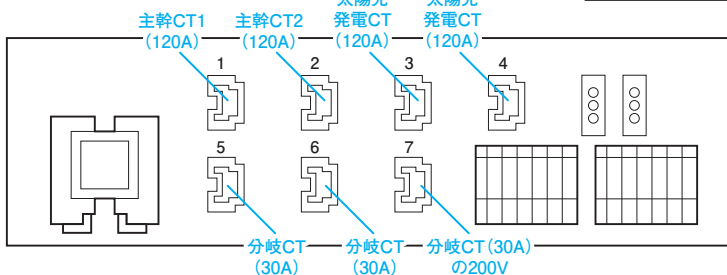
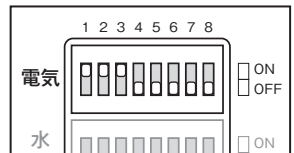


- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

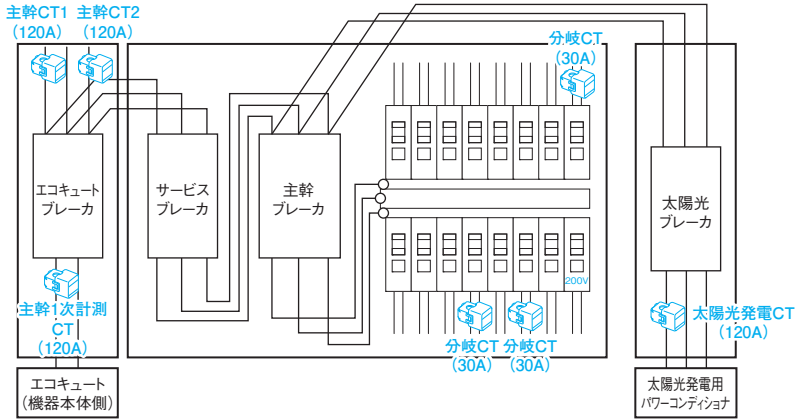
DIPスイッチ図



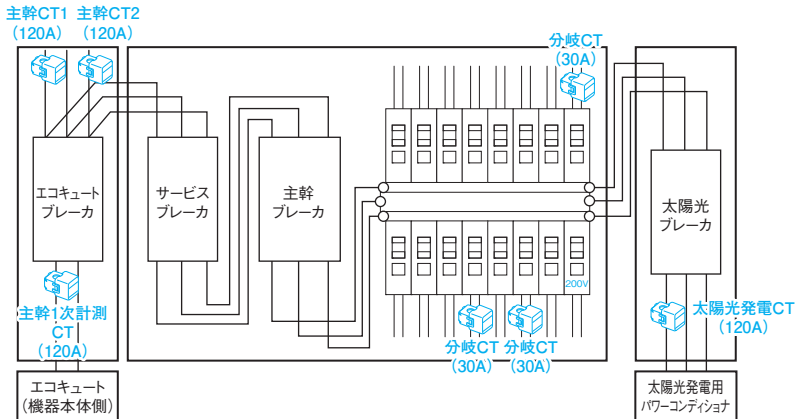
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 4

■ 主幹+分岐+太陽光発電+主幹1次計測機器200V → 太陽光1次側接続

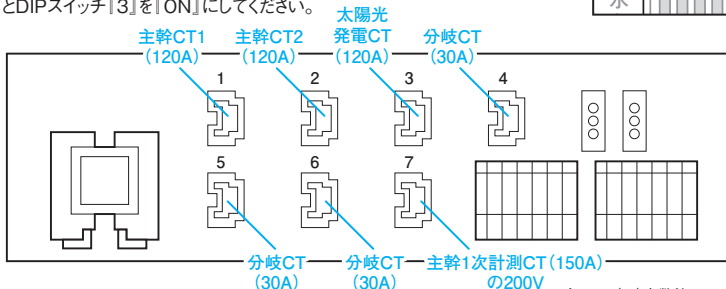
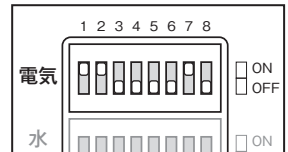


■ 主幹+分岐+太陽光発電+主幹1次計測機器200V → 太陽光2次側接続



- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません。)
 - 主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。分岐計測は100V回路のみとなります。
- ⚠ 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を『ON』にしてください。

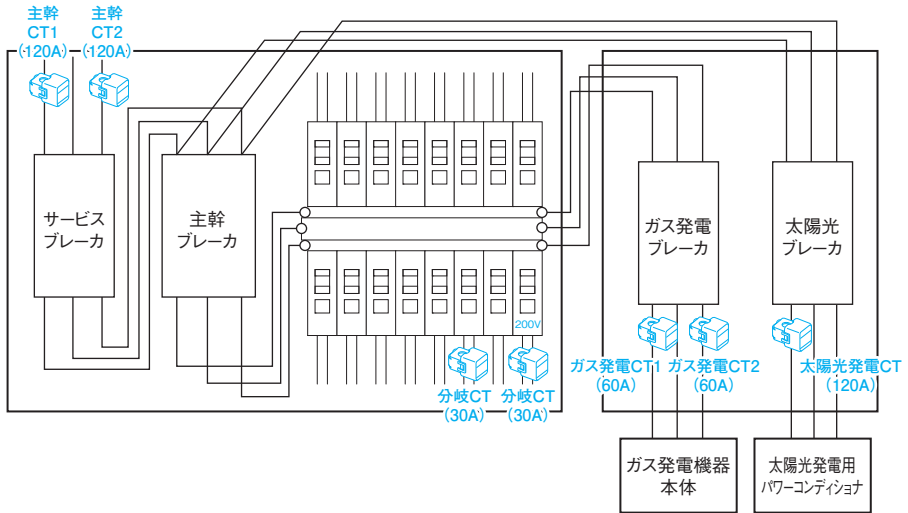
DIPスイッチ図



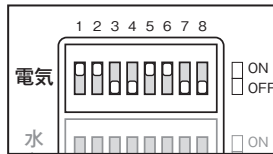
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 5

■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電

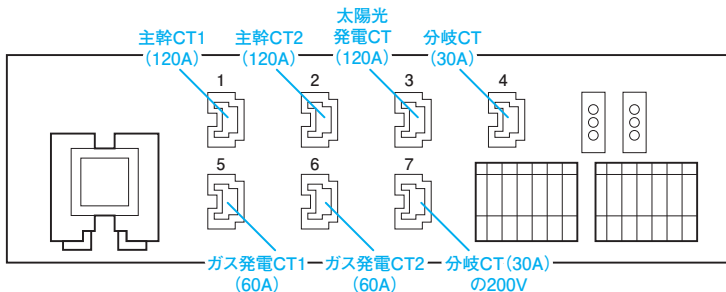


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

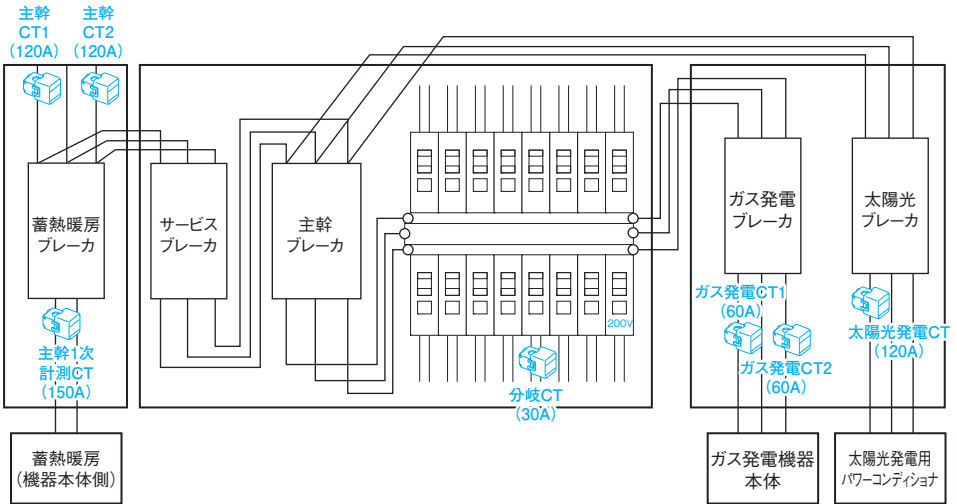
- ⚠ 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



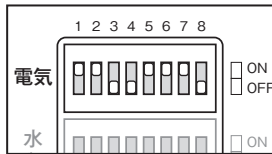
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 6

■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+主幹1次計測(蓄熱暖房など200V)



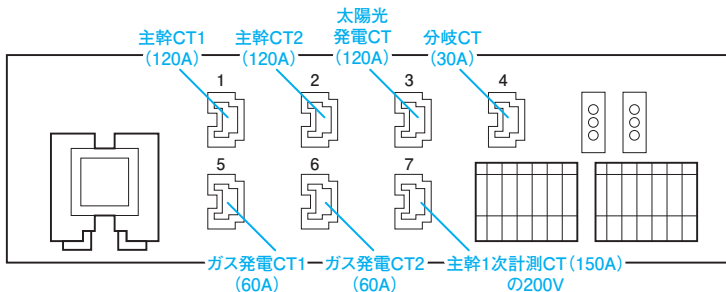
DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。
分岐計測は100V回路のみとなります。



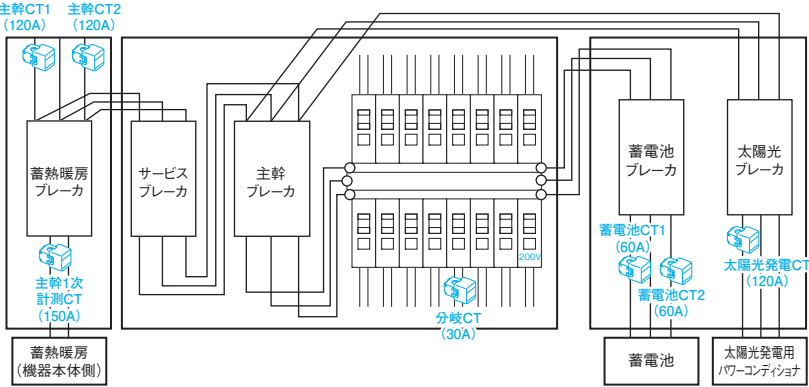
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



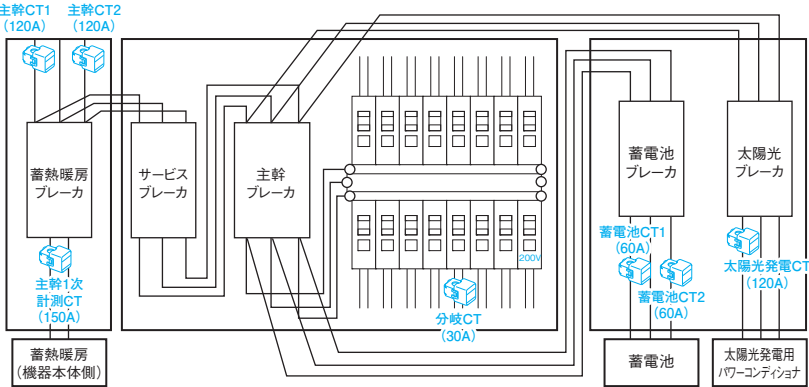
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 7

■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池+主幹1次計測(蓄熱暖房など200V) → 蓄電池2次側記線



■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池+主幹1次計測(蓄熱暖房など200V) → 蓄電池1次側記線



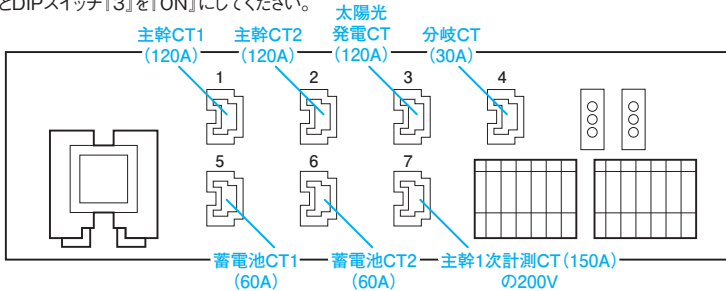
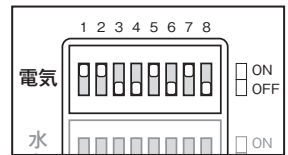
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません。)
- 主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。

分岐計測は100V回路のみとなります。



- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

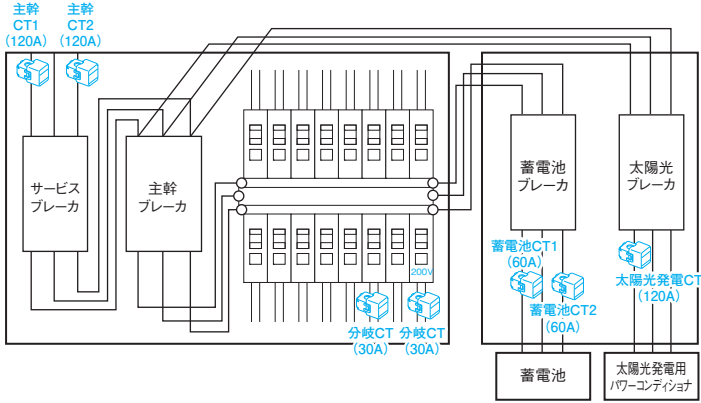
DIPスイッチ図



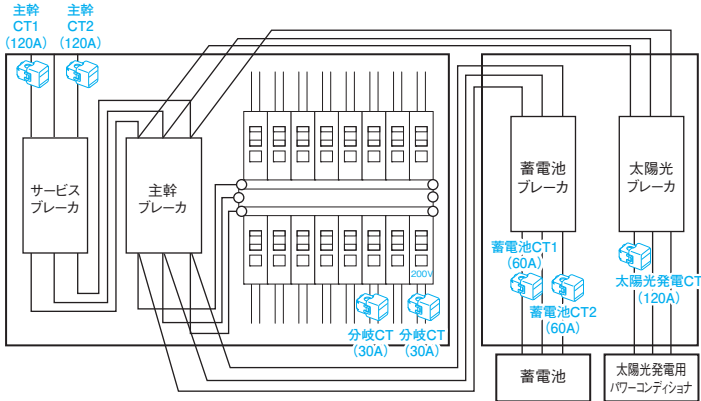
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 8

■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池 → 蓄電池2次側配線



■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池 → 蓄電池1次側配線



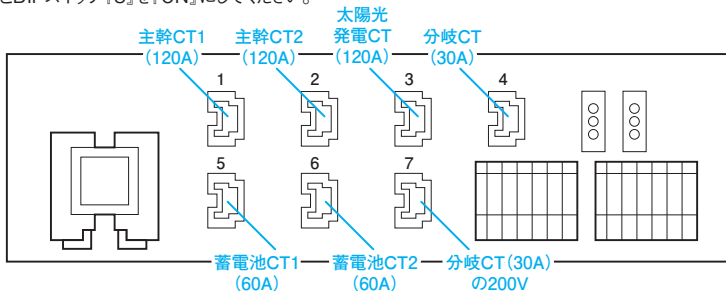
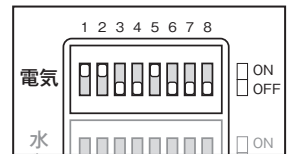
・分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません)

・分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を『ON』にしてください。

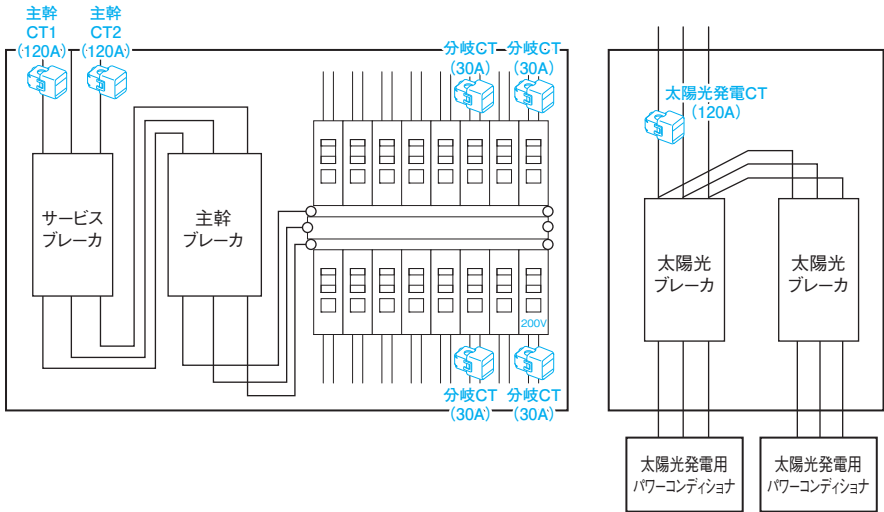
DIPスイッチ図



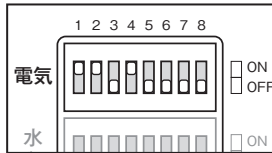
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 9

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)



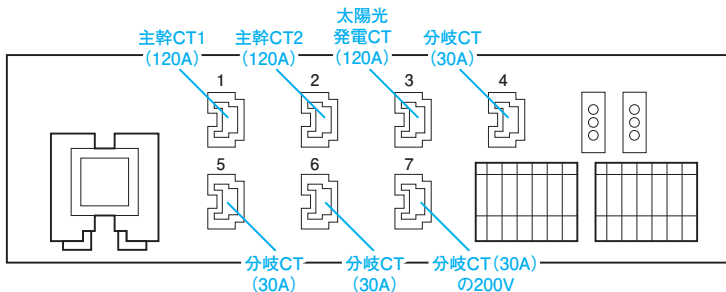
DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



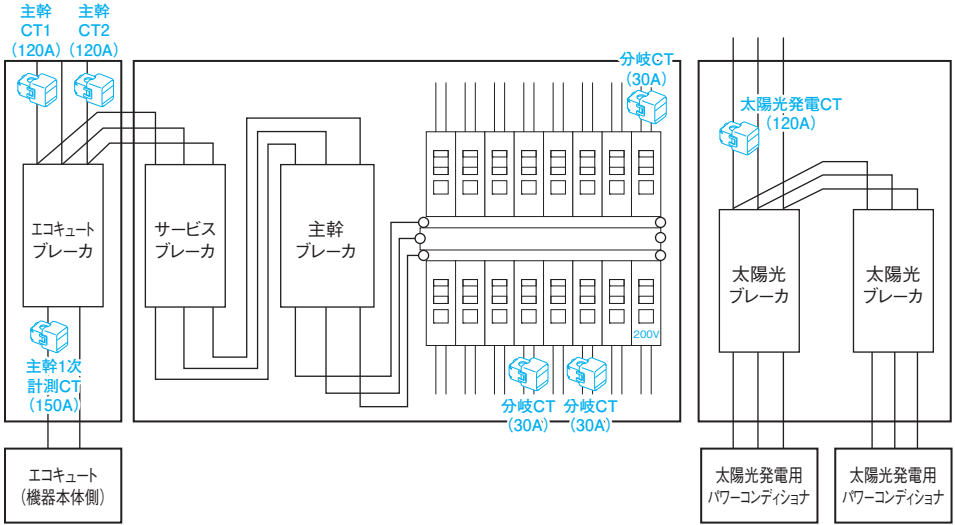
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



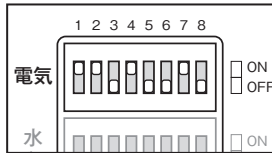
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 10

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+主幹1次計測200V

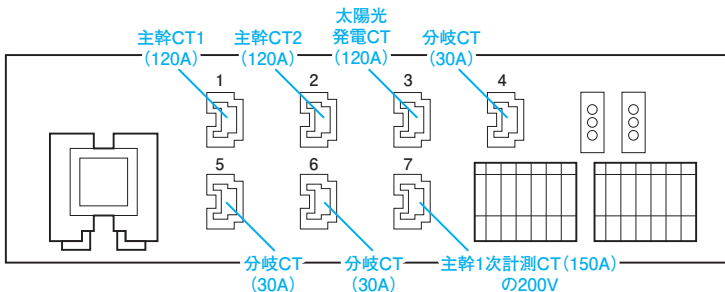


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。
分岐計測は100V回路のみとなります。

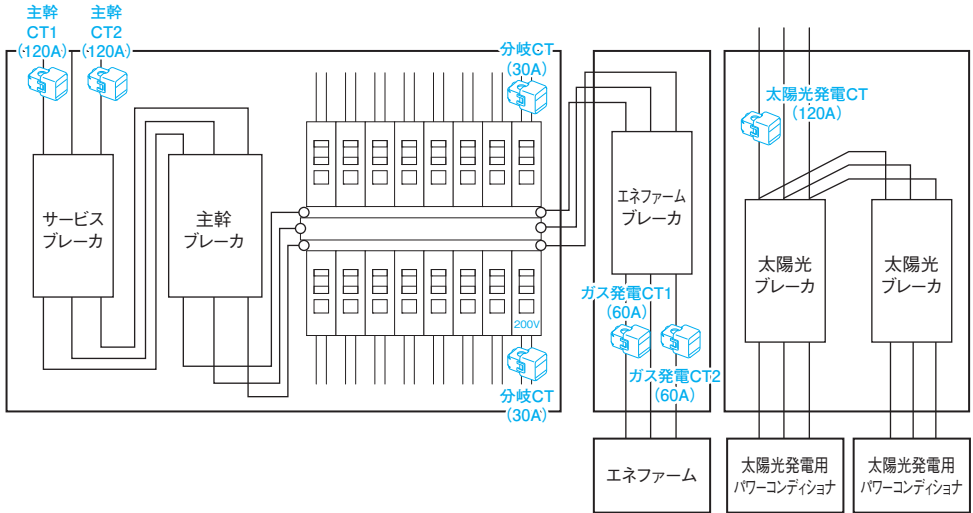
- 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を『ON』にしてください。



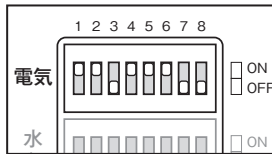
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 11

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電

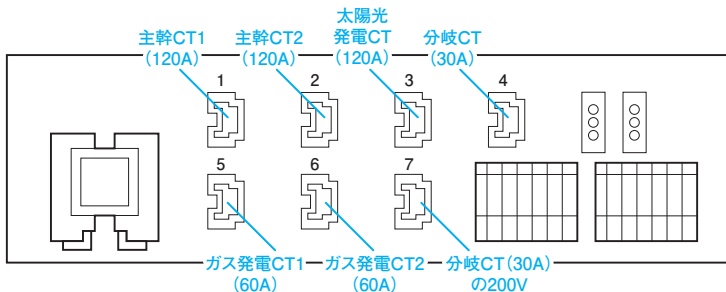


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

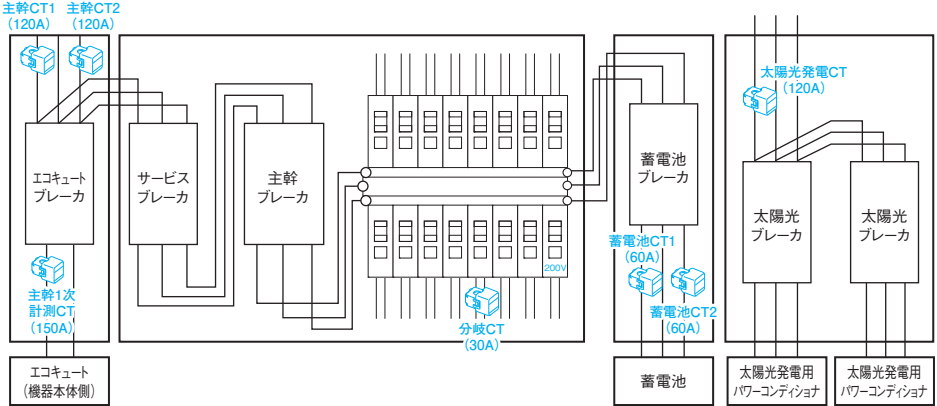
- ⚠ 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



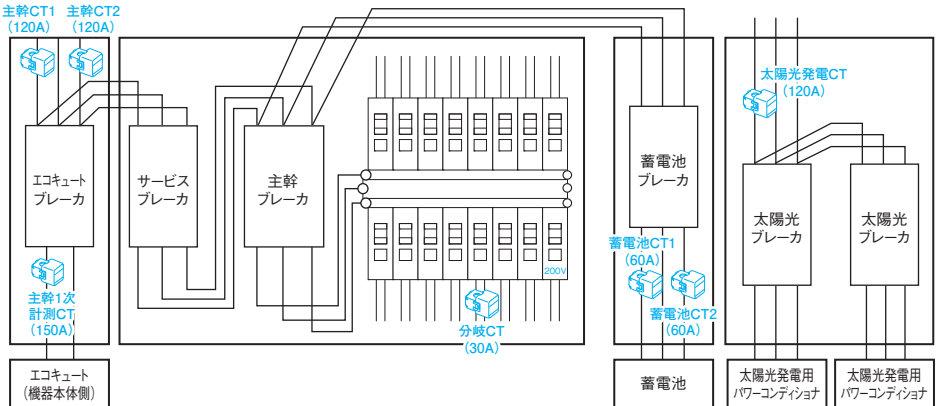
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 12

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池+主幹1次計測機器200V → 蓄電池2次側配線



■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池+主幹1次計測機器200V → 蓄電池1次側配線

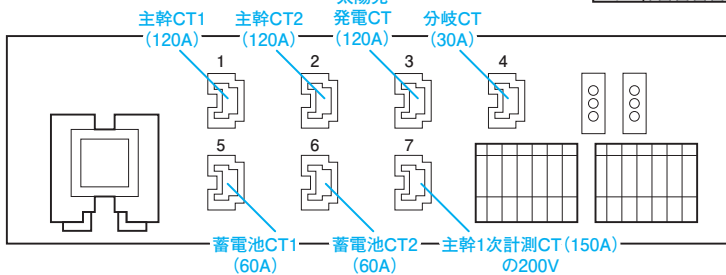
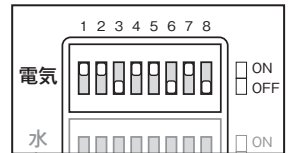


- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません。)
- ・主幹1次計測機器200Vを計測する場合、分岐200V回路は計測できません。分岐計測は100V回路のみとなります。



- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を『ON』にしてください。

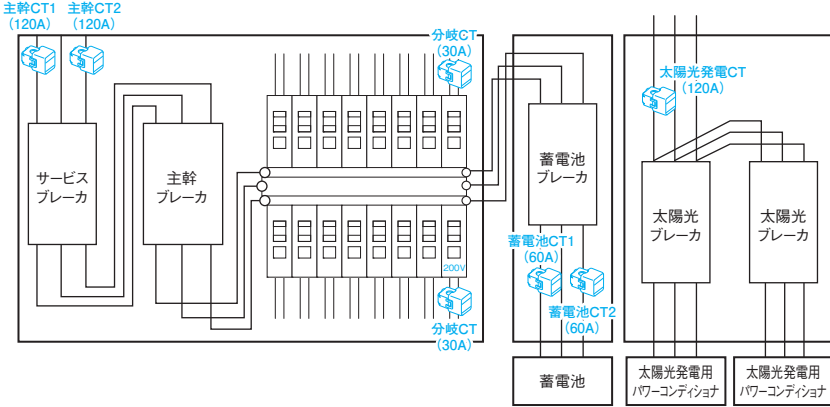
DIPスイッチ図



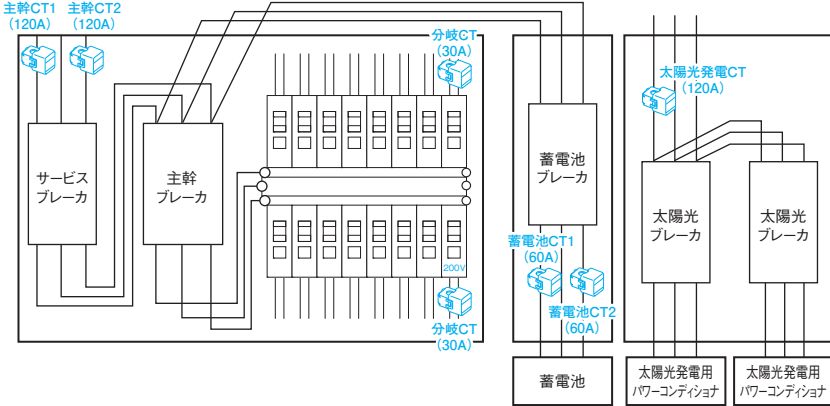
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 13

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池 → 蓄電池2次側配線



■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池 → 蓄電池1次側配線

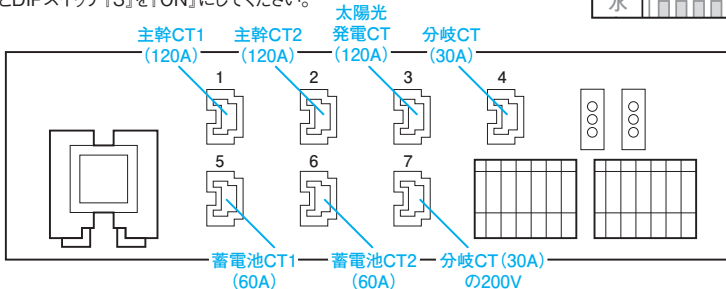
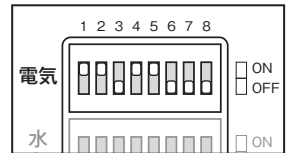


- ・分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません)
- ・分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3[単3連系](P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

分電盤 リミッタースペースなし (全電力管内向け)

■ 太陽光余剰買取

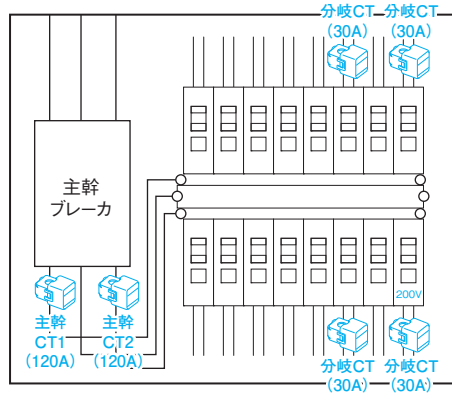
パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	掲載 ページ
		100V	200V (エコキュート含)					
14	○	○	○	—	—	—	—	31
15	○	○	○	○	—	—	—	32
16	○	○	○	○	○	—	—	33
17	○	○	○	○	—	○	—	34

■ 太陽光全量買取

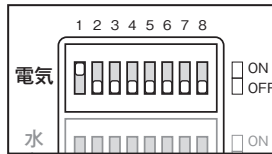
パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	掲載 ページ
		100V	200V (エコキュート含)					
18	○	○	○	○	—	—	—	35
19	○	○	○	○	○	—	—	36
20	○	○	○	○	—	○	—	37

パターン 14

■ 主幹+分岐

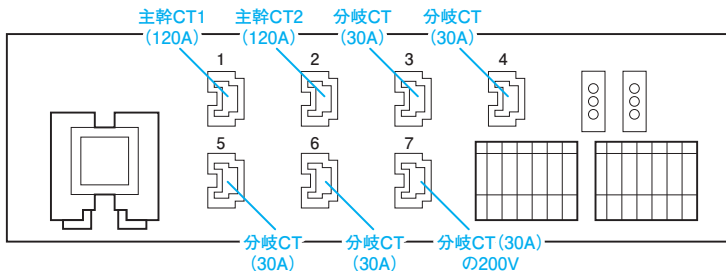


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

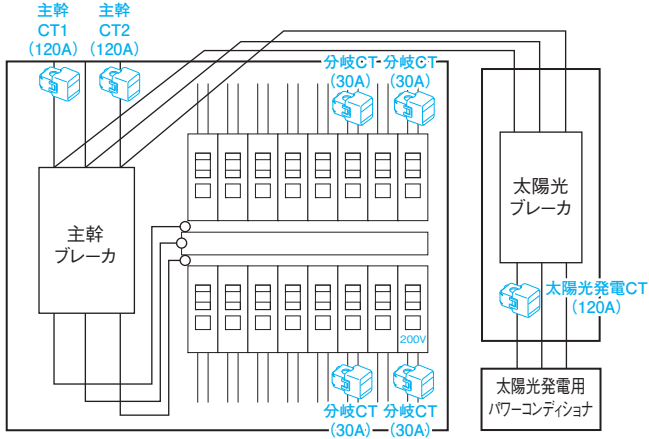
⚠注意 •主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。



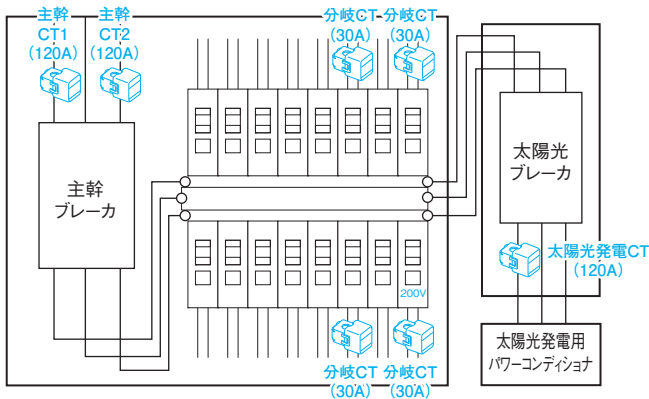
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 15

■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電1次側接続



■ 主幹+分岐+太陽光発電 → 太陽光発電2次側接続



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。

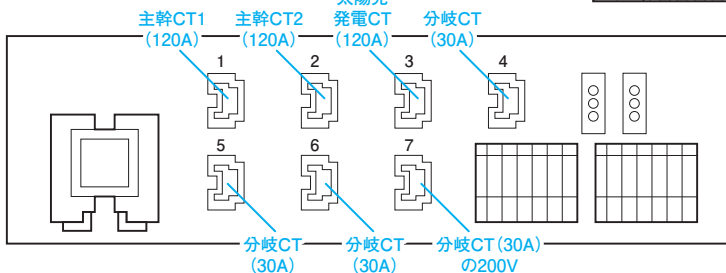
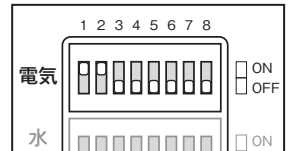
(設置場所に指定はありません)

- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

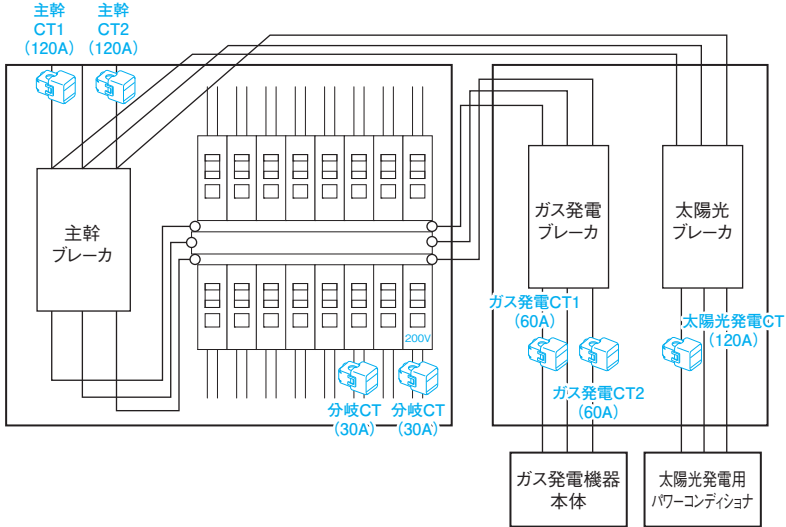
DIPスイッチ図



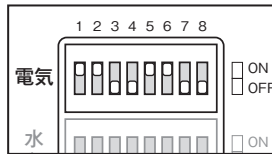
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 16

■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電

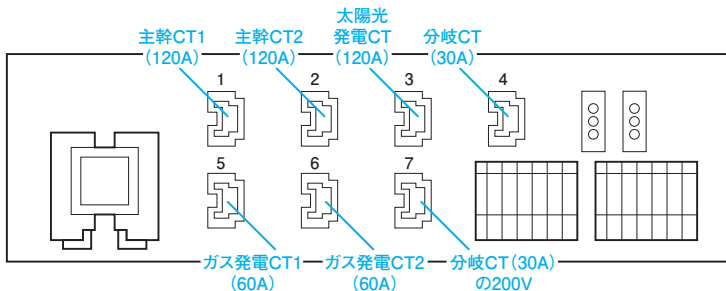


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

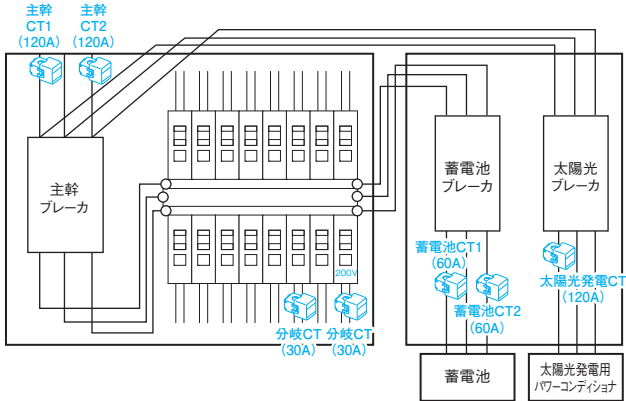
- ⚠ 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



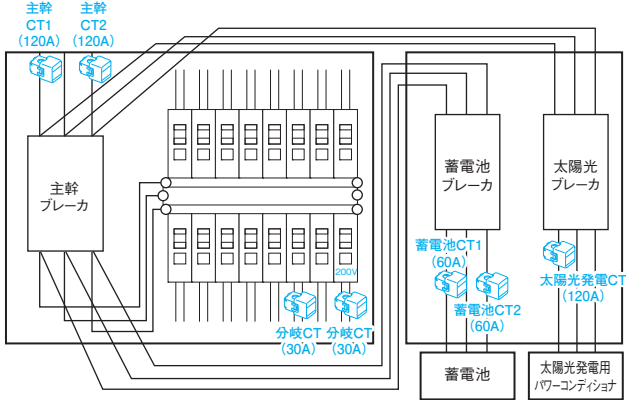
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 17

■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池 → 蓄電池2次側接続



■ 主幹+分岐+太陽光発電+蓄電池 → 蓄電池1次側接続



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。

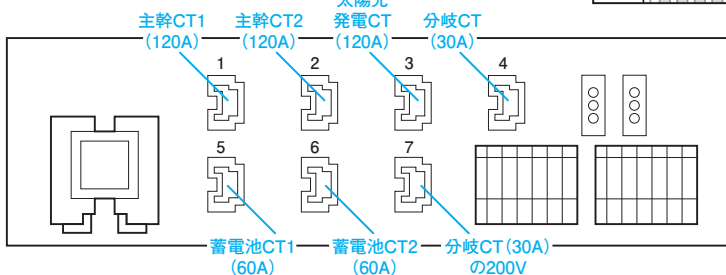
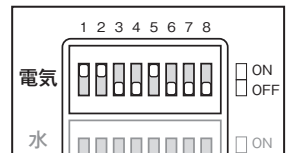
(設置場所に指定はありません)

- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を「ON」にしてください。

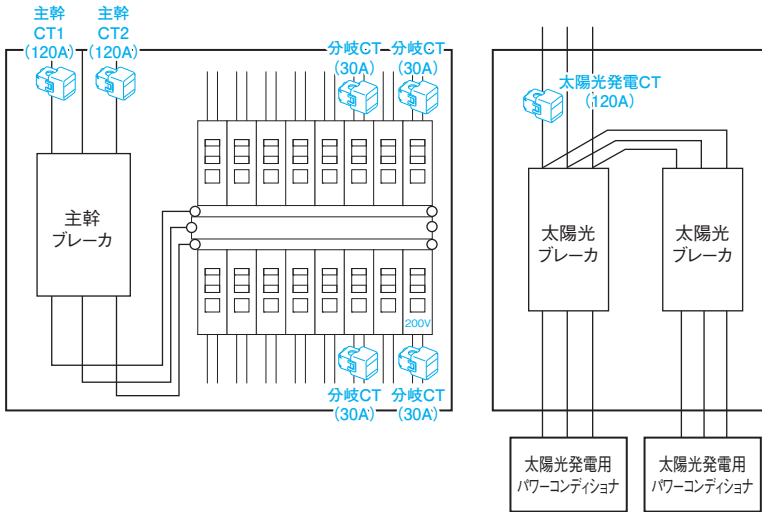
DIPスイッチ図



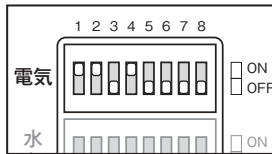
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 18

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)

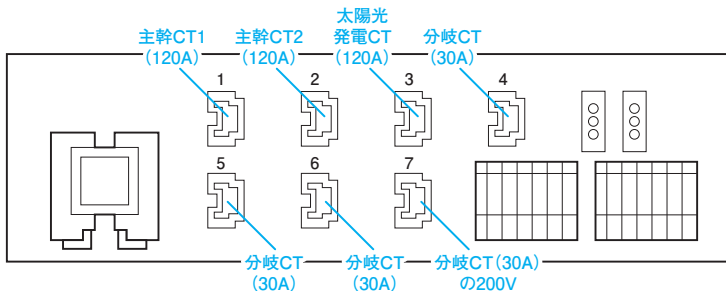


DIPスイッチ図



- 分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- 分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

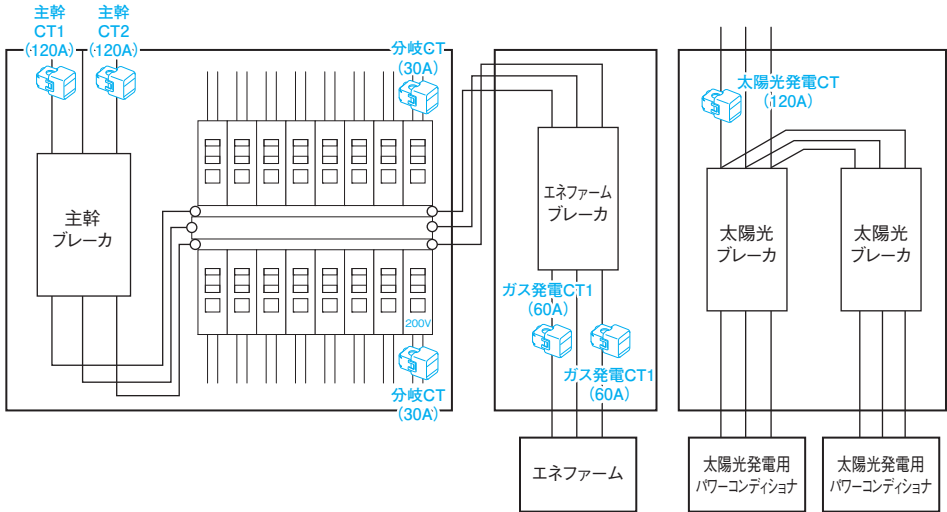
- ⚠ 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



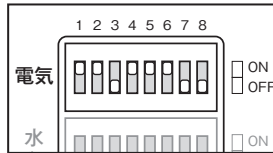
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 19

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電

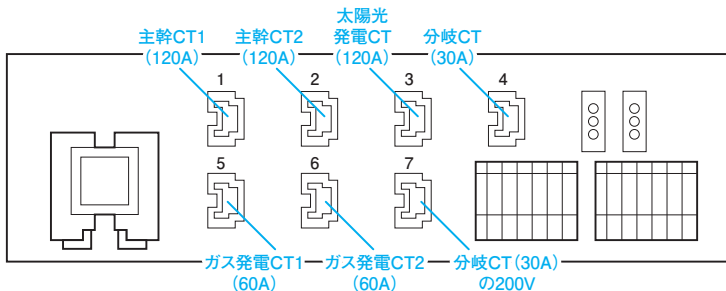


DIPスイッチ図



- ・分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。(設置場所に指定はありません)
- ・分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。

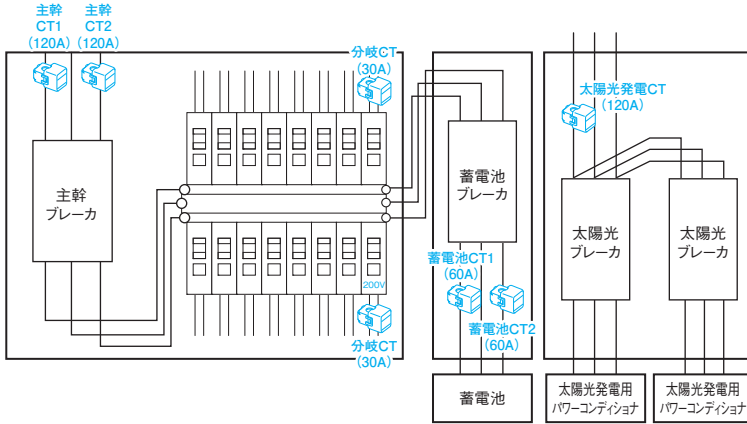
- ⚠ 注意**
- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。



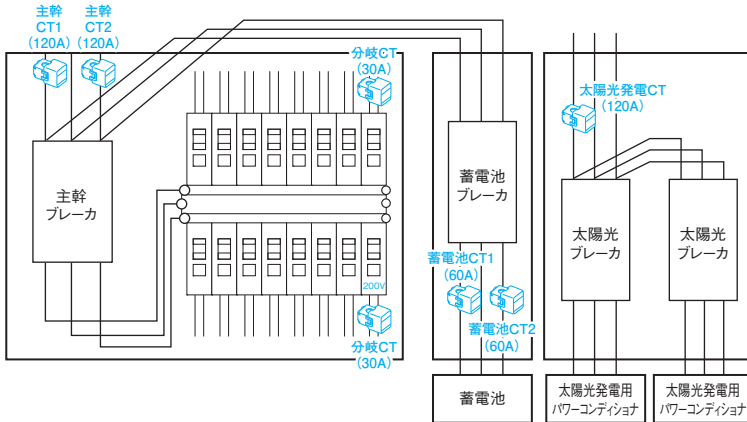
*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 20

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池 → 蓄電池2次側配線



■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+蓄電池 → 蓄電池1次側配線

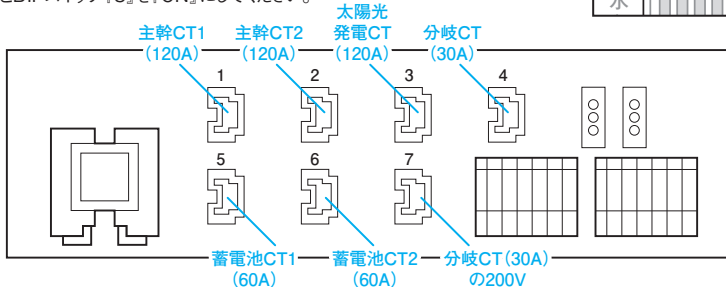
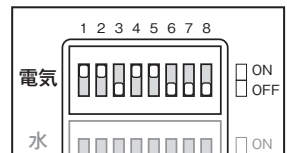


- ・分岐計測用CTは計測したい回路に接続してください。
(設置場所に指定はありません)
- ・分岐200V回路は1カ所のみ計測できます。



- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を『ON』にしてください。

DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

**分電盤に
リミッタースペースあり**
(北海道・東北・東京・中部・北陸・九州電力管内向け)
**3電池対応
計測コントローラ2台設置**

■ 太陽光余剰買取

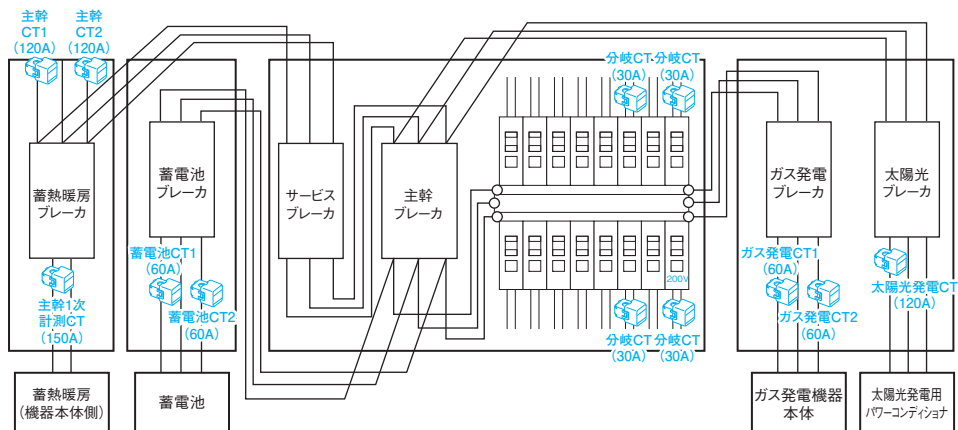
パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	主幹1次接続機器 200V	掲載 ページ
		100V	200V						
21	○	○	○	○	○	○	—	○	39
22	○	○	○	○	○	○	○(1φ3W)	○	40
23	○	○	○	○	○	○	○(1φ2W)	○	41

■ 太陽光全量買取

パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	主幹1次接続機器 200V	掲載 ページ
		100V	200V						
24	○	○	○	○	○	○	—	○	42
25	○	○	○	○	○	○	○(1φ3W)	○	43
26	○	○	○	○	○	○	○(1φ2W)	○	44

パターン 21

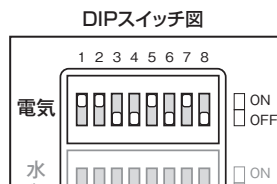
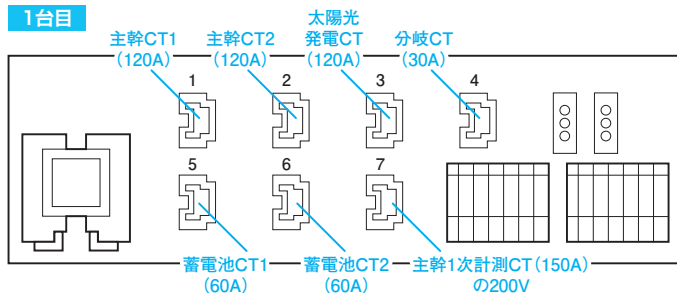
■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池+主幹1次計測機器200V



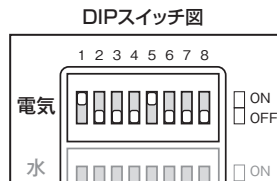
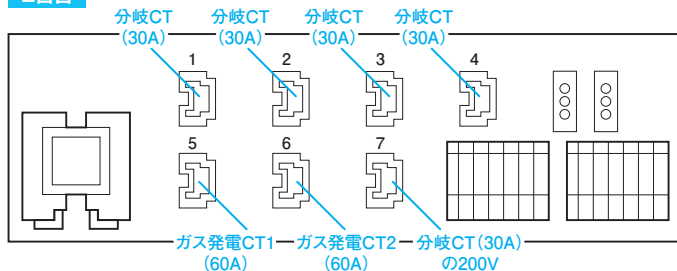
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 主幹1次計測機器200V 1系統 を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

- 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

1台目



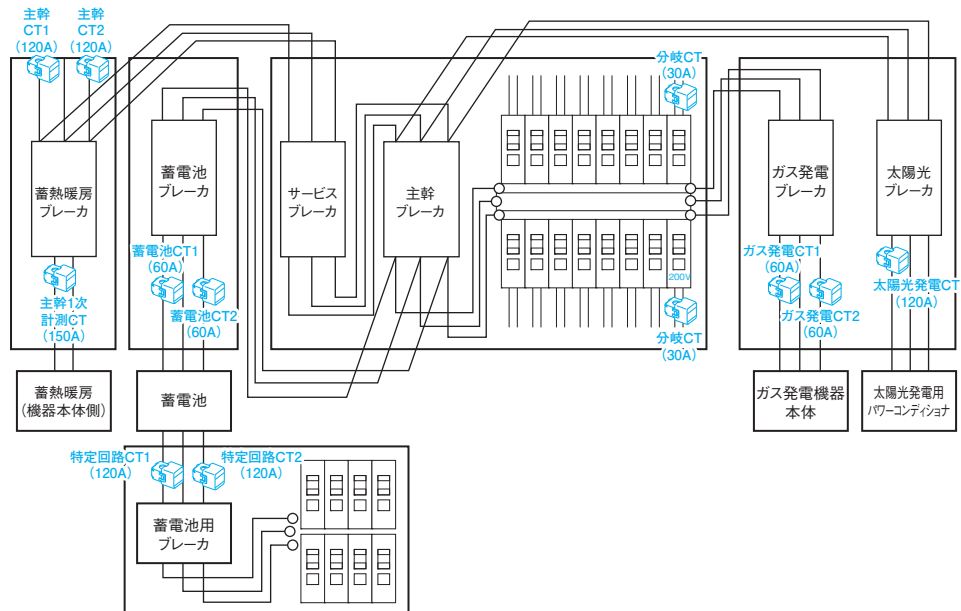
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 22

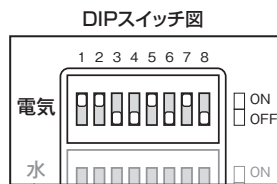
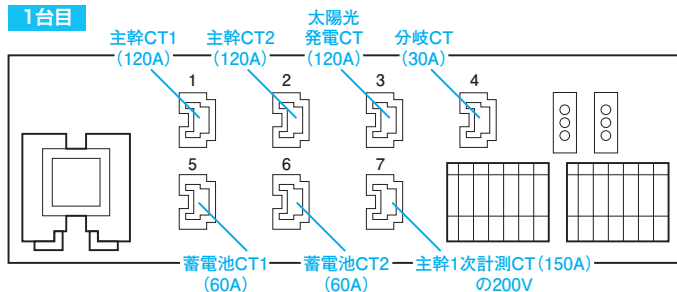
■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ3W+主幹1次計測機器200V



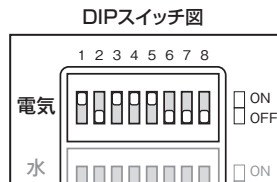
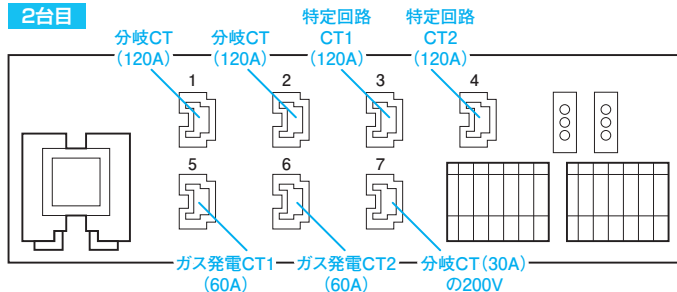
- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・主幹1次計測機器200V 1系統を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

注意 ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

1台目



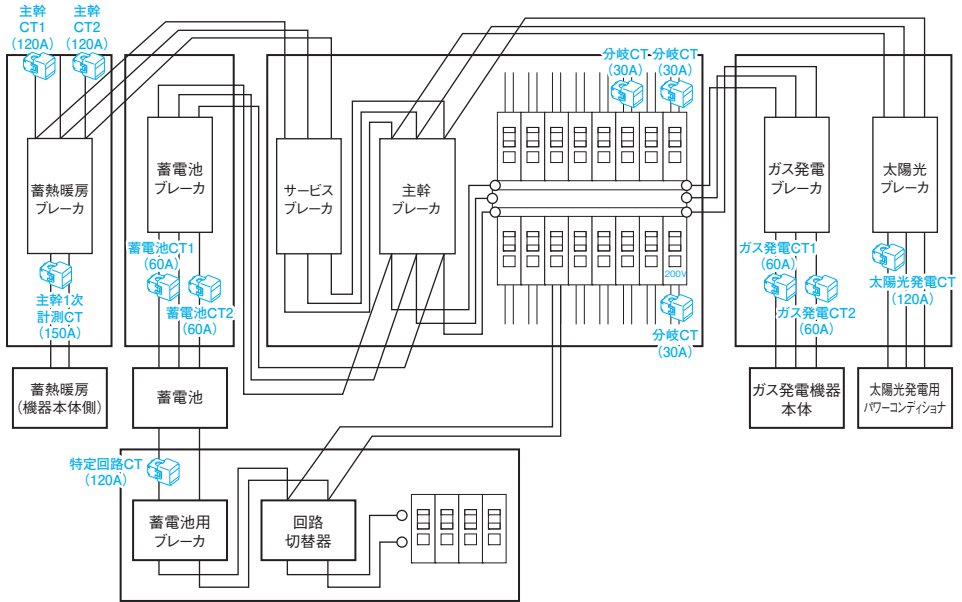
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
 例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 23

■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ2W+主幹1次計測機器200V

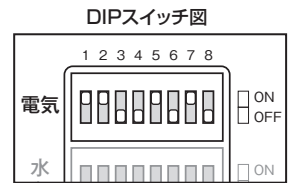
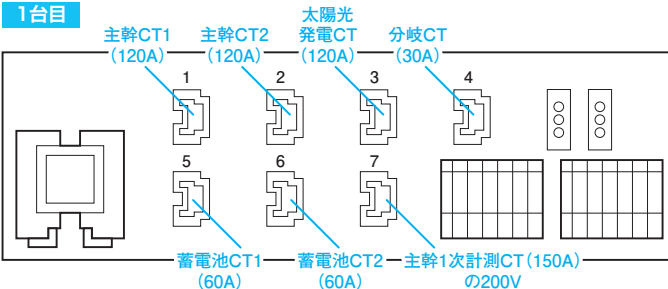


- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・主幹1次計測機器200V 1系統を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

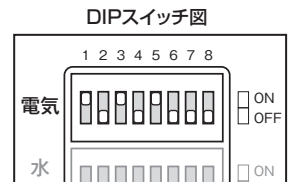
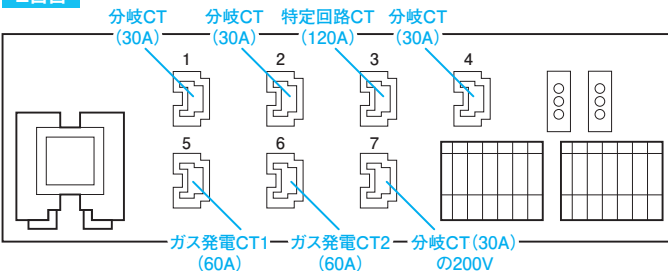
⚠注意

- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3[単3連系](P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

1台目



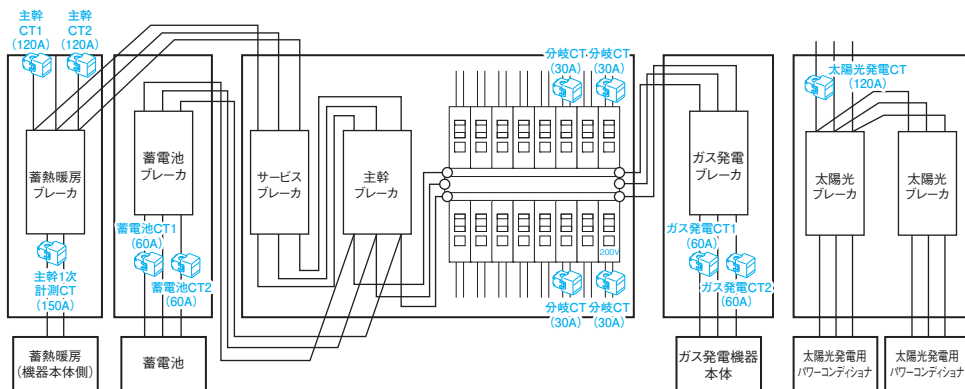
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 24

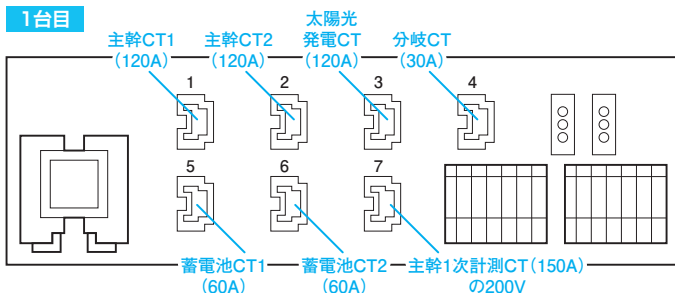
■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池+主幹1次計測機器200V



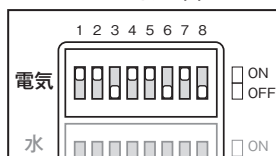
- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・主幹1次計測機器200V 1系統 を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

- 注意**
- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

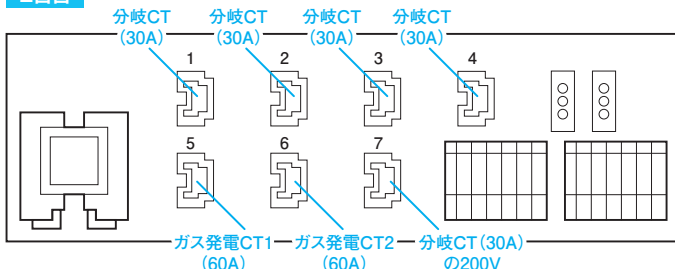
1台目



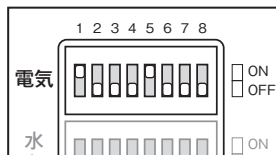
DIPスイッチ図



2台目



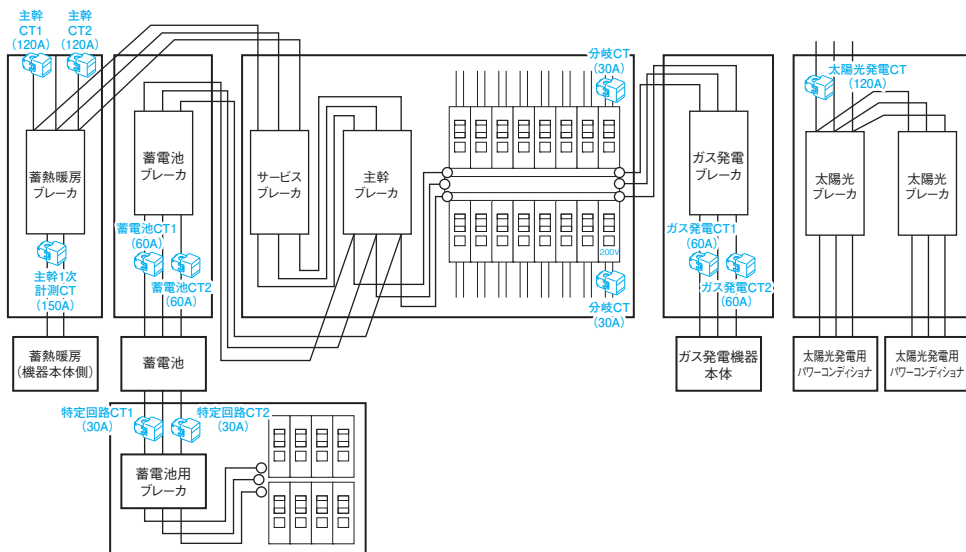
DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 25

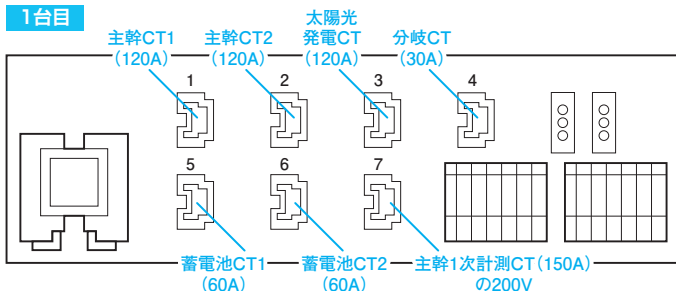
■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ3W+主幹1次計測機器200V



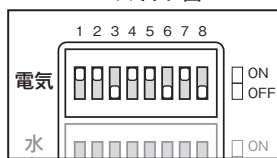
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 主幹1次計測機器200V 1系統を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

注意 • 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 • 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

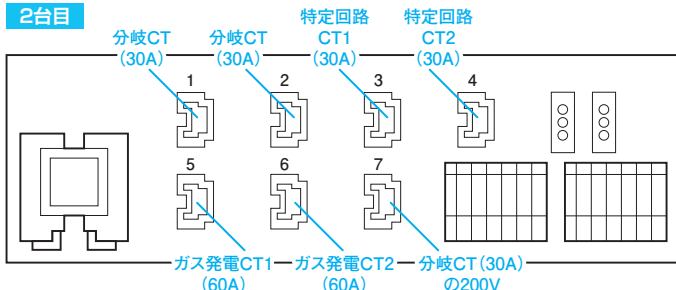
1台目



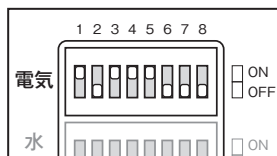
DIPスイッチ図



2台目



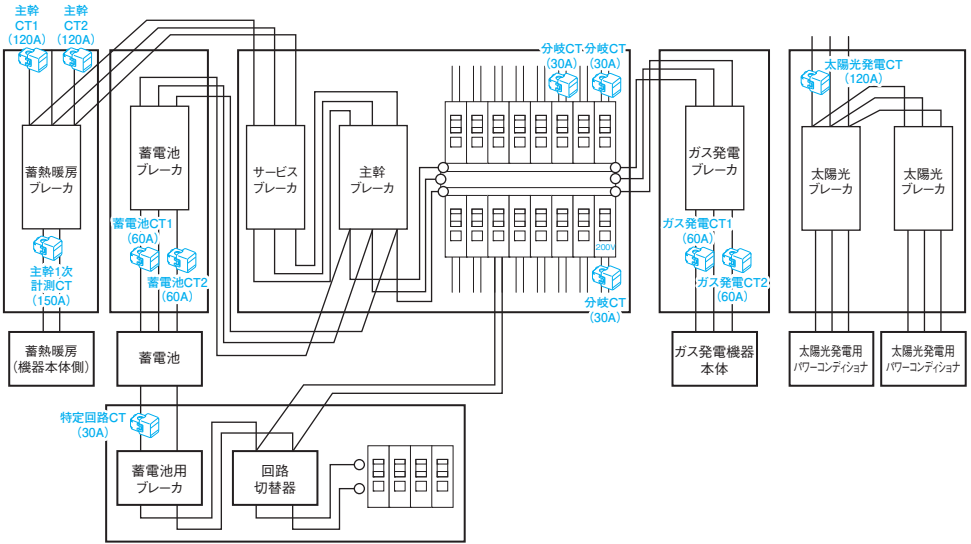
DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
 例) 主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 26

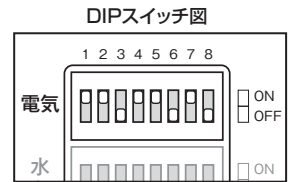
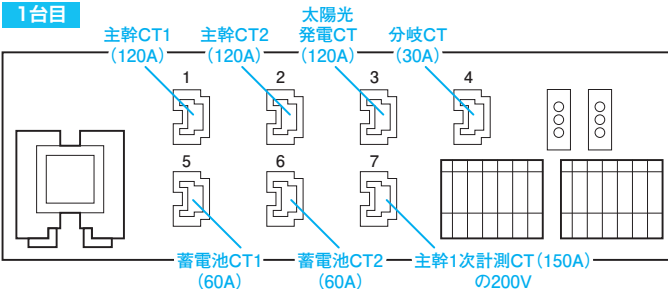
■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ2W+主幹1次計測機器200V



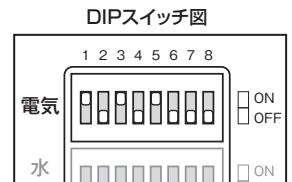
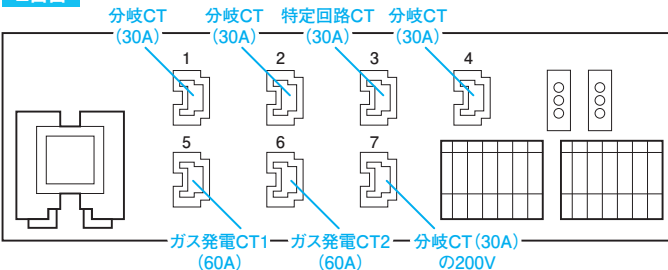
- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・主幹1次計測機器200V 1系統を計測する場合、分岐200V回路は1回路のみ計測できます。

- 注意**
- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を「ON」にしてください。

1台目



2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

分電盤に
リミッタースペースなし
(全電力管内向け)
3電池対応
計測コントローラ2台設置

■ 太陽光余剰買取

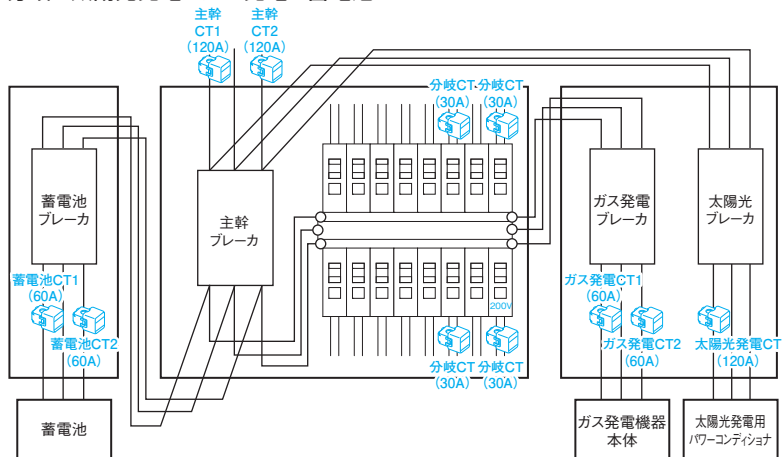
パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	掲載 ページ
		100V	200V (エコキュート含)					
27	○	○	○	○	○	○	—	46
28	○	○	○	○	○	○	○(1φ3W)	47
29	○	○	○	○	○	○	○(1φ2W)	48

■ 太陽光全量買取

パターン No.	主幹	分岐		太陽光発電	ガス発電	蓄電池	特定回路	掲載 ページ
		100V	200V (エコキュート含)					
30	○	○	○	○	○	○	—	49
31	○	○	○	○	○	○	○(1φ3W)	50
32	○	○	○	○	○	○	○(1φ2W)	51

パターン 27

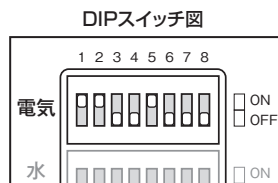
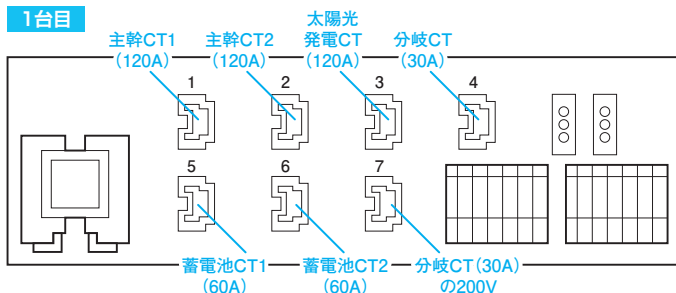
■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池



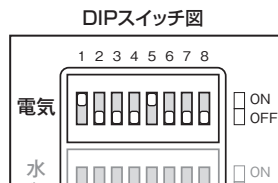
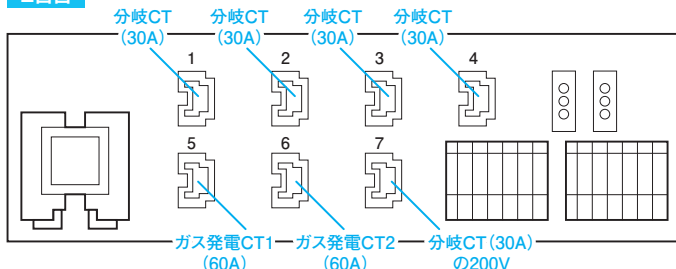
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 分岐200V回路は最大2回路計測できます。

- 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

1台目



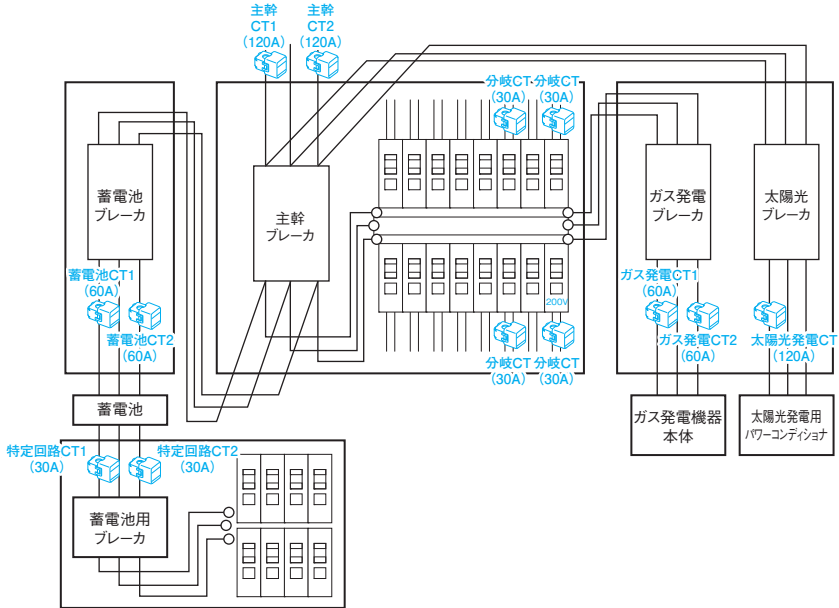
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

■ パターン 28

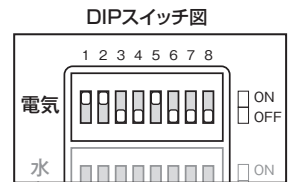
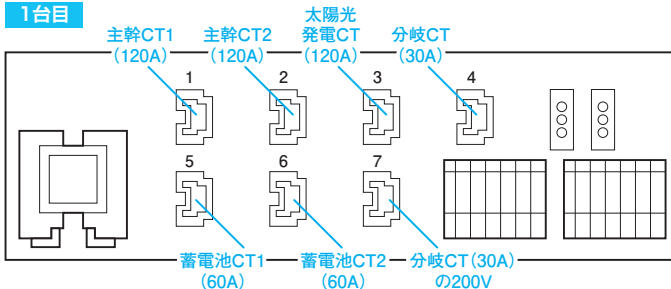
■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ3W



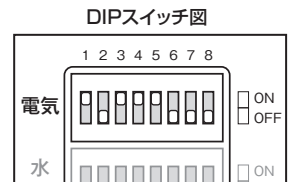
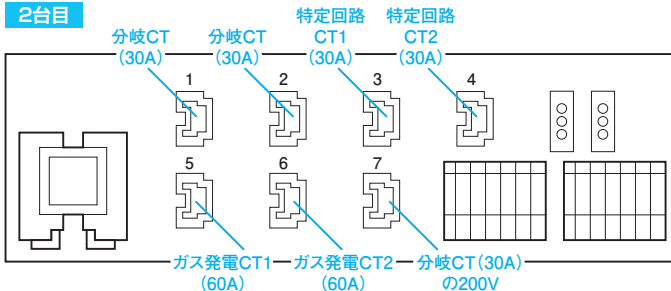
- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・分岐200V回路は最大2回路計測できます。

注意 ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

1台目



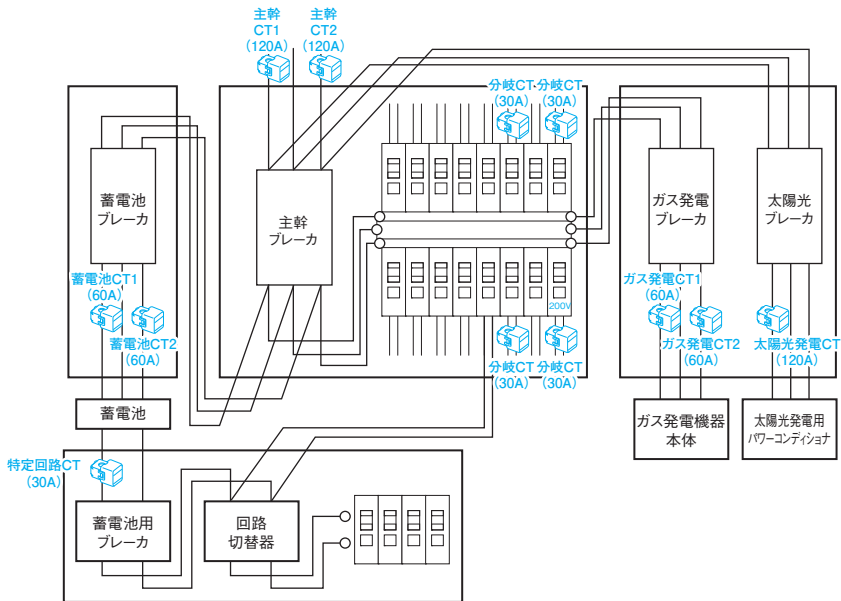
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
 例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 29

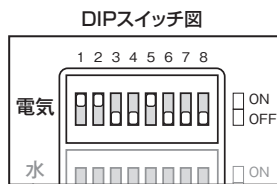
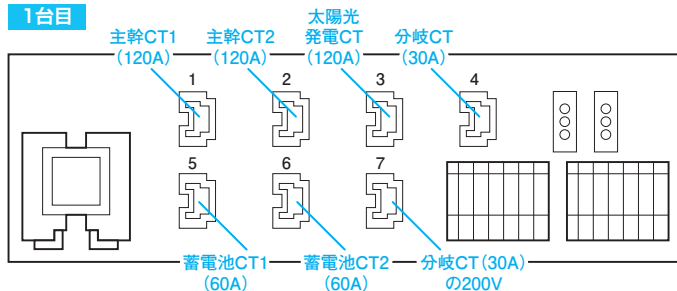
■ 主幹+分岐+太陽光発電+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ2W



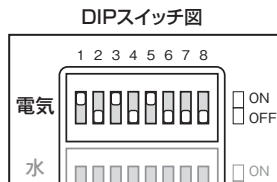
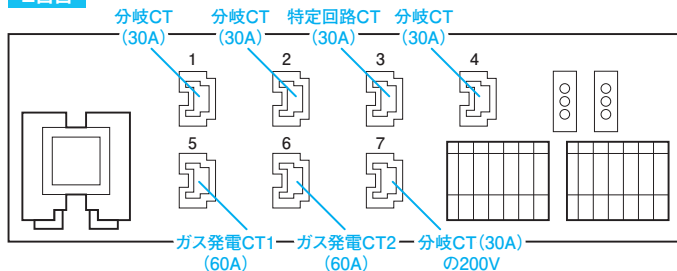
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 分岐200V回路は最大2回路計測できます。

△注意 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を『ON』にしてください。

1台目



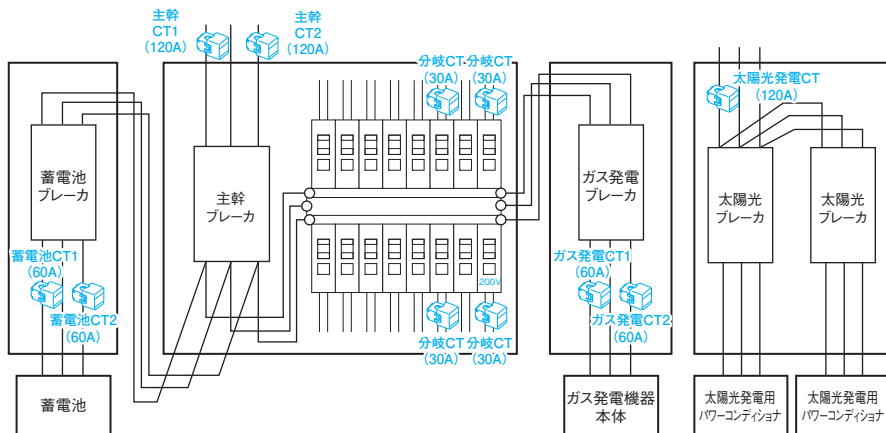
2台目



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
 例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 30

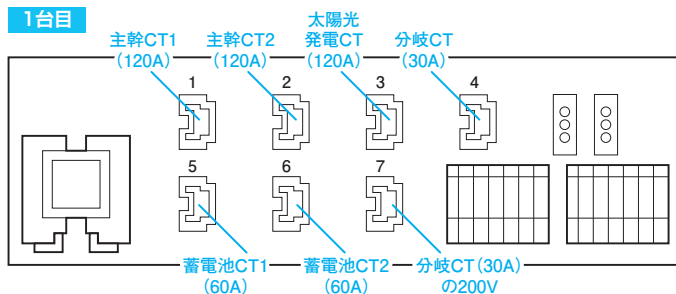
■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池



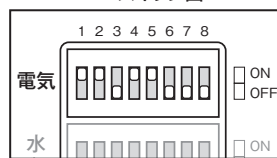
- 分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- 分岐200V回路は最大2回路計測できます。

- 注意**
- 主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メータ→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
 - 太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

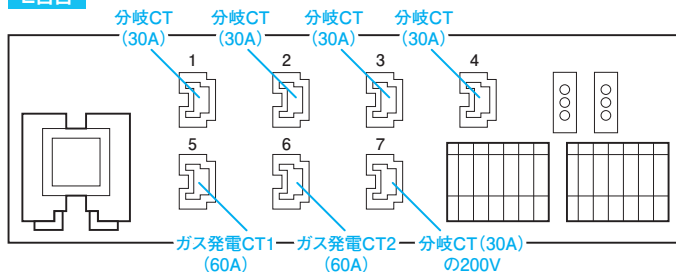
1台目



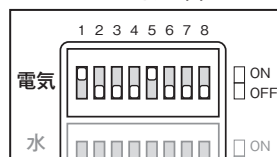
DIPスイッチ図



2台目



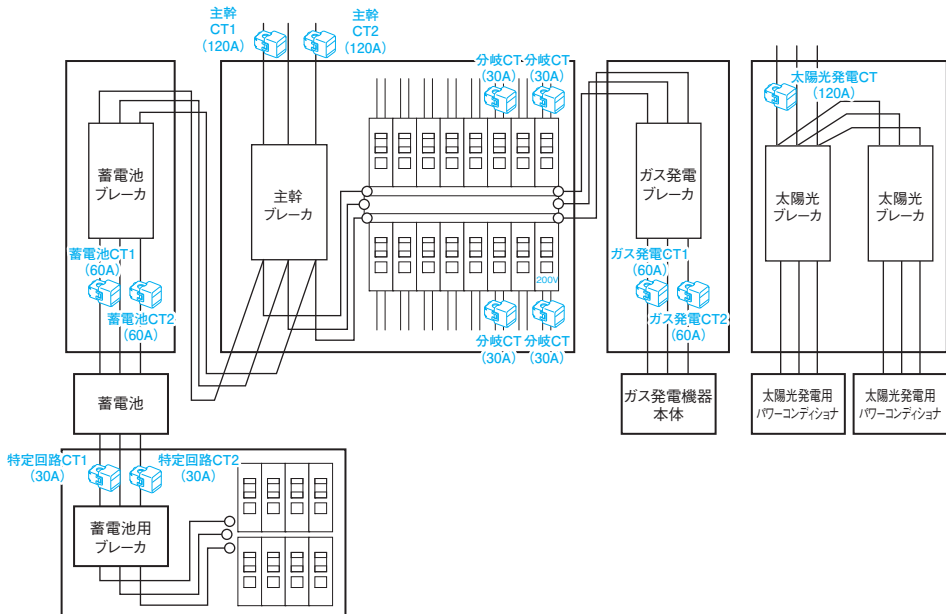
DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 31

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ3W



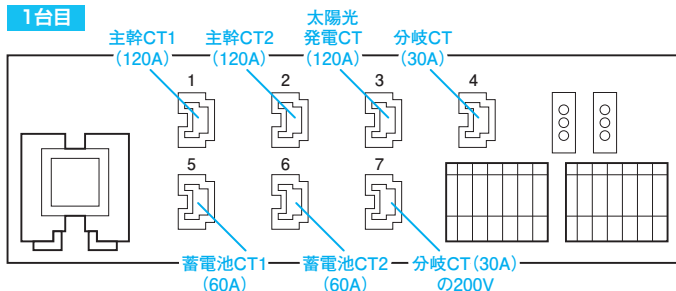
・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)

・分岐200V回路は最大2回路計測できます。

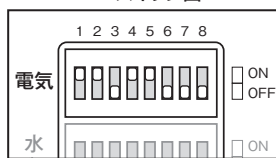


- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ『3』を『ON』にしてください。

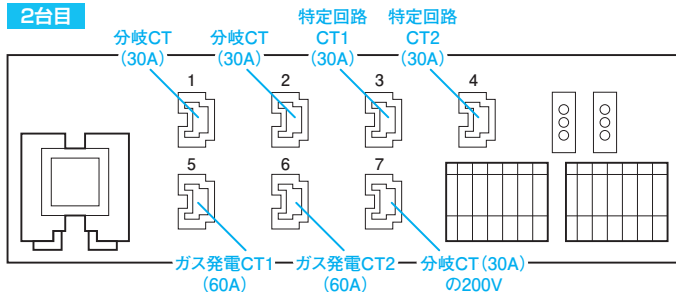
1台目



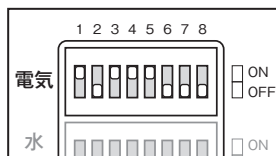
DIPスイッチ図



2台目



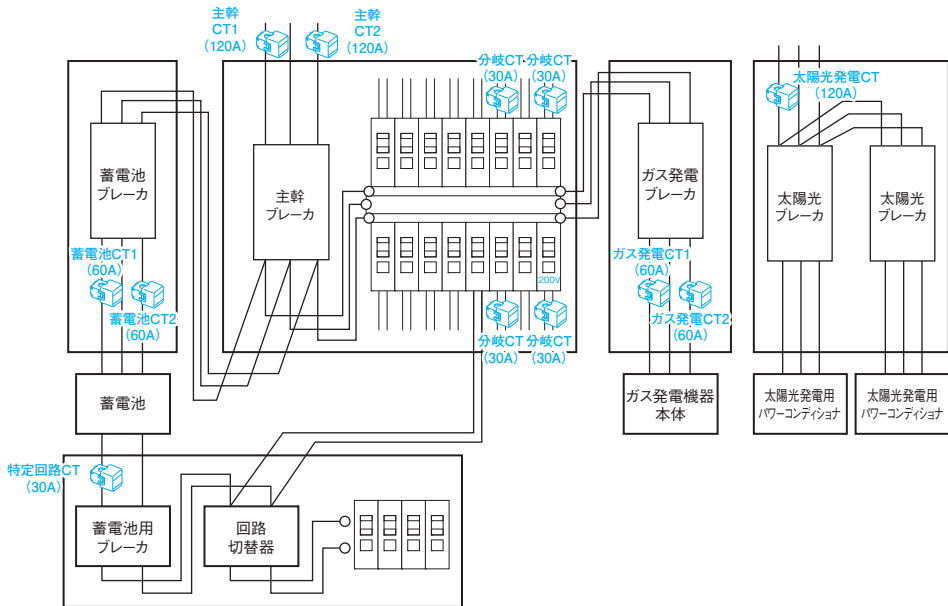
DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

パターン 32

■ 主幹+分岐+太陽光発電(全量買取)+ガス発電+蓄電池+特定回路1φ2W

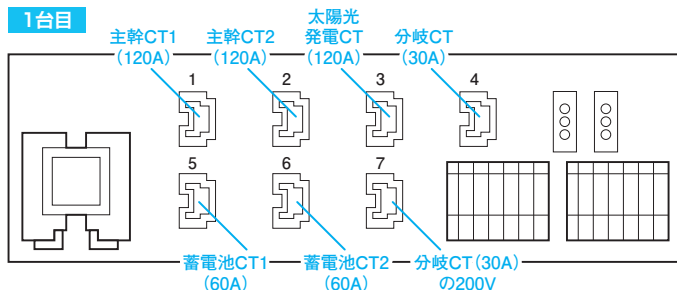


- ・分岐計測用CTは計測したい分岐回路に接続してください。(設置場所に指定はありません。)
- ・分岐200V回路は最大2回路計測できます。

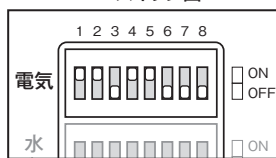


- ・主幹計測用CTは接続方向に注意し、必ずK→L(電力メーター→分電盤)の流れに合わせて接続してください。
- ・太陽光発電が単3連系の場合、パターン3【単3連系】(P.19)と同じ接続とDIPスイッチ「3」を「ON」にしてください。

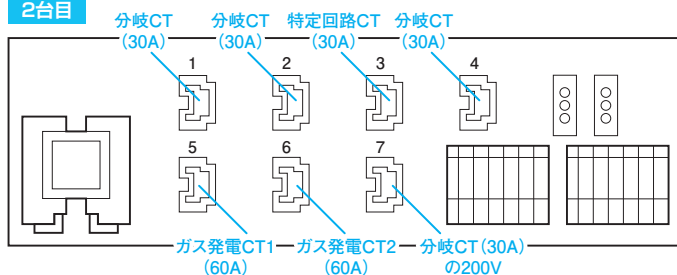
1台目



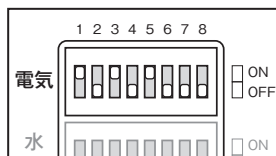
DIPスイッチ図



2台目



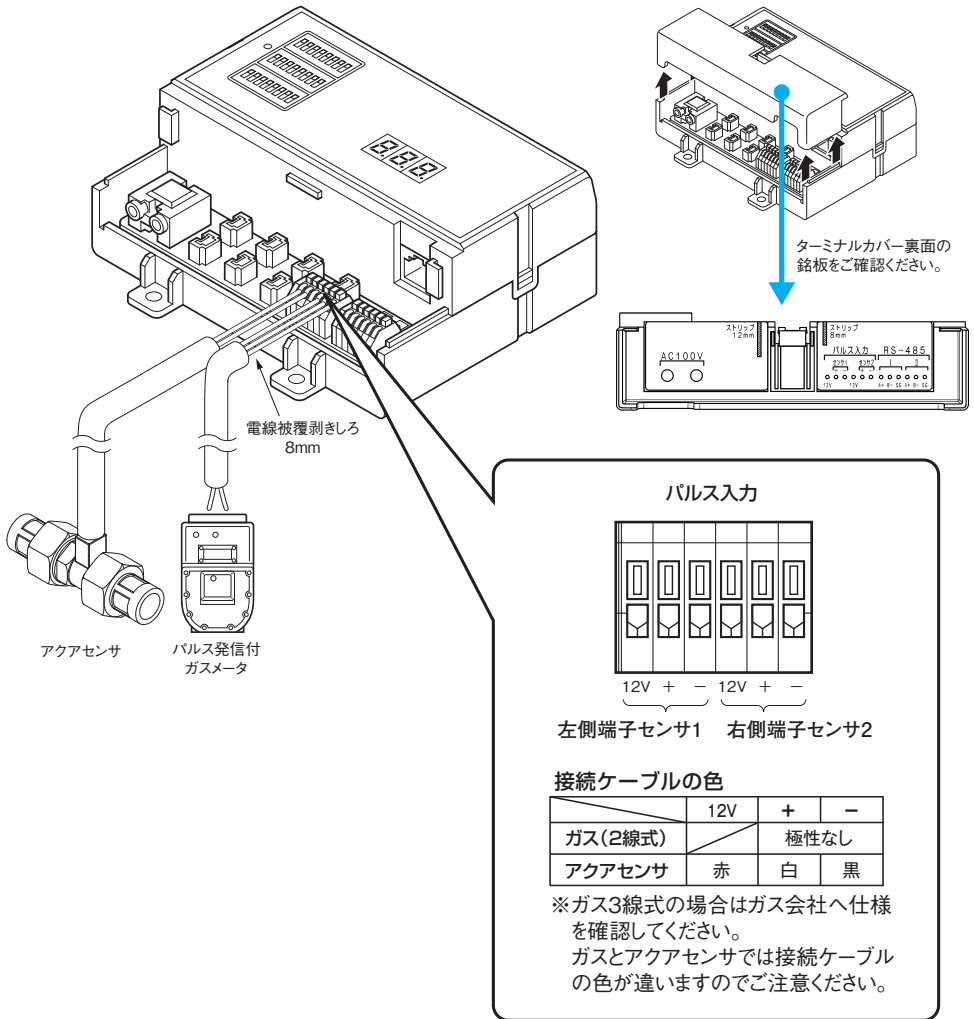
DIPスイッチ図



*各CTの()内数値はアンペアの上限になります。
例)主幹CT(120A) … 120Aまで対応

15 アクアセンサ(水道計測)・ガス計測 配線図

配線図



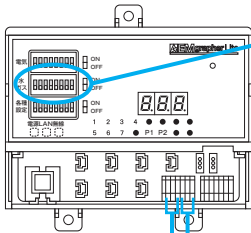
注意

- 全体量を計測するセンサは、必ず計測コントローラ1台目(左側端子センサ1)へ接続してください。
水道/ガスそれぞれ全体量を計測する場合は計測コントローラ1台目(左側センサ1:水道主幹)(右側端子センサ2:ガス主幹)へ接続してください。
- ガス3線式の場合はガス会社へ仕様を確認してください。
ガスとアクアセンサでは接続ケーブルの色が異なりますのでご注意ください。
接続を間違えると正しく計測できません。

16 DIPスイッチによる水道・ガス設定

水道・ガス設定用DIPスイッチについて

水道使用量、ガス使用量を計測するには、水・ガス設定用DIPスイッチでパルス設定を行います。



水・ガス設定用DIPスイッチ (中段)

それぞれ1～8番には設定する項目内容が下記対応表のように割付されており、ON/OFFの切り替えで設定を行います。

DIPスイッチの 1～4番は左側端子センサ1
5～8番は右側端子センサ2 の設定となります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	
	種別選択	乗率	乗率	パルス種類	種別選択	乗率	乗率	パルス種類	
	ガス	1パルスあたりの流量設定		長パルス	ガス	1パルスあたりの流量設定		長パルス	ON
	水道			短パルス	水道			短パルス	OFF

1パルスあたりの流量 (左側端子)

DIPスイッチ	水道	ガス
	入力なし	入力なし
	0.1L (推奨アクアセンサ)	1L
	1L	10L
	10L	100L

1パルスあたりの流量 (右側端子)

DIPスイッチ	水道	ガス
	入力なし	入力なし
	0.1L (推奨アクアセンサ)	1L
	1L	10L
	10L	100L

※ 1パルスあたりの流量を3種類の中から選択しDIPスイッチを設定してください。

※ アクアセンサをご利用の場合は、流量 0.1L、短パルスに設定してください。

注意 スイッチの切り替えで鋭利なドライバーを使用するとスイッチ部が破損する恐れがあります。

安全上のご注意

施工店様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後にこの説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

AEMグラファーLiteをお使いになるご家庭で、人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な事項を記載していますので必ずお守りください。



警告

「死亡や負傷」を負うおそれがある内容です。



必ず守る

- 仕様電源電圧内で使用してください。
 (仕様を超えた電圧で使用したり、交流電源を印加した場合、破損したり焼損したりする恐れがあります)
- 誤配線をしないでください。
 (破損したり焼損したりする恐れがあります)
- パルス線は負荷無し接続をしないでください。
 (負荷無しで電源を直接接続すると破裂したり焼損したりする恐れがあります)
- 本製品を改造・分解しないでください。



注意

「損害を負うことや、財産の損害」が発生する恐れがある内容です。

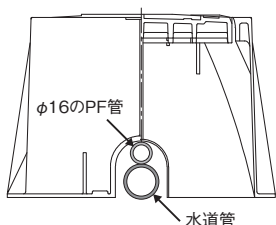
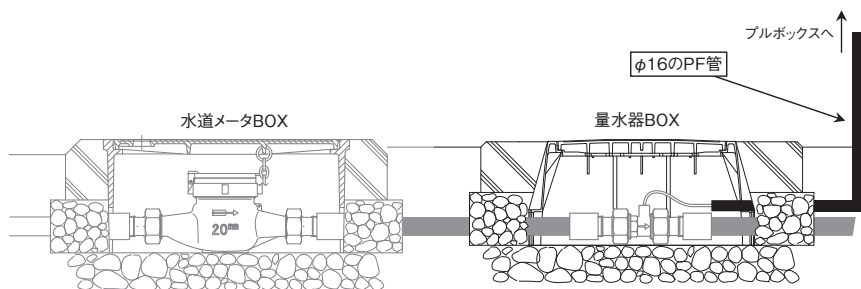


必ず守る

- ・精密部品が組み込まれていますので落下などの衝撃をあたえないでください。
- ・ケーブルを持って本体を持ち上げないでください。
- ・ねじ山やパッキン面を損傷しないでください。
- ・ねじ部は鋭角形状で負傷することがありますので注意してください。
- ・配管内のゴミなどを洗管により完全に除去して取り付けてください。
- ・ゴミが流入する可能性のある場合はストレーナを取り付けてください。
- ・アクアセンサが空気の溜まり場所とならないような配管としてください。
- ・保管管理については衛生上、また事故防止の為、ゴミが入らないようにしてください。また、凍結、直射日光のあたる場所など、気温の変化の大きい所を避けてください。
- ・常時水没での使用はできません。汚水泥水がなく乾燥した所で、点検しやすい場所に設置してください。
- ・逆流した場合もパルス出力します。逆流が頻発する可能性がある場合は、逆止弁などにより逆流を防止してください。
- ・凍結のある恐れのある場合は防寒対策をしてください。
- ・下記の設置場所は誤動作の原因となりますので取り付けしないでください。
 - a. 電波の強いところ(放送局の近く、アマチュア無線・CB無線など)
 - b. 高周波の発生する機械設備や電気溶接機のあるところ
 - c. アクアセンサ内に空気が流入するところ

■ 量水器BOX設置場所・設置方法

アクアセンサ（主幹）BOX設置場所・設置方法（例）

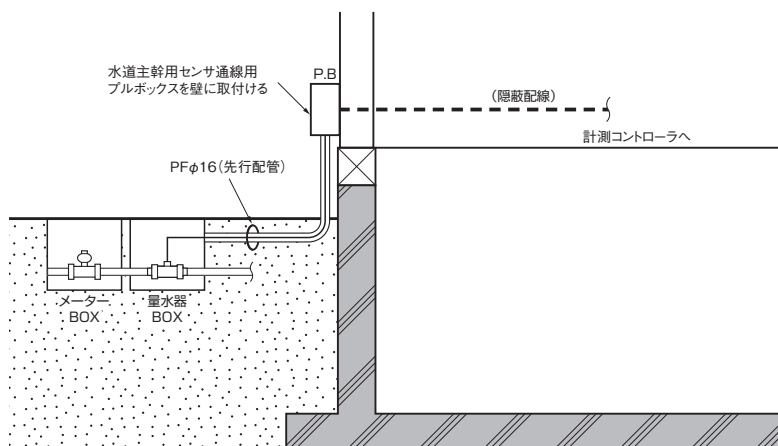


水道管の上にφ16PF管を重ねて配管してください

- ①水道メータBOXの下流側に隣接して量水器BOXを取り付けます。
- ②アクアセンサ（主幹）用のφ16 PF管を水道管の上に重ねて外壁プルボックス設置箇所まで配管します。
- ③上水道に直結する工事は当該水道局の条例に基づき認定水道工業者が指定された配管材料を使って施工してください。
- ④BOXの下部は、ずれ、沈下などが生じないように碎石をひき、BOXの周囲を敷き詰めてください
- ⑤量水器BOXはボックス内に土が入らないように土留板を設けてください。
- ⑥量水器BOXの上部が地表面と同一高さになるように設置し、BOX内に土砂等が流入しないようにしてください。
- ⑦量水器BOXの掘付は横置きとし、手前開きとします。

※ゴミ詰まりによる誤動作を防ぐため、必ず代用管等を使用して洗管してください。

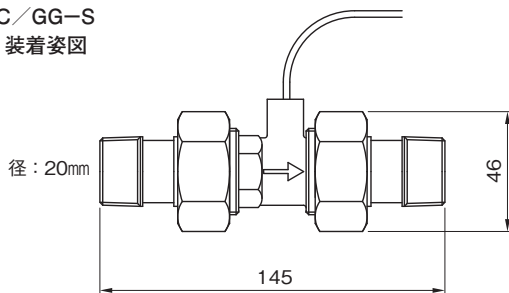
アクアセンサ（主幹）通線用プルボックス取付



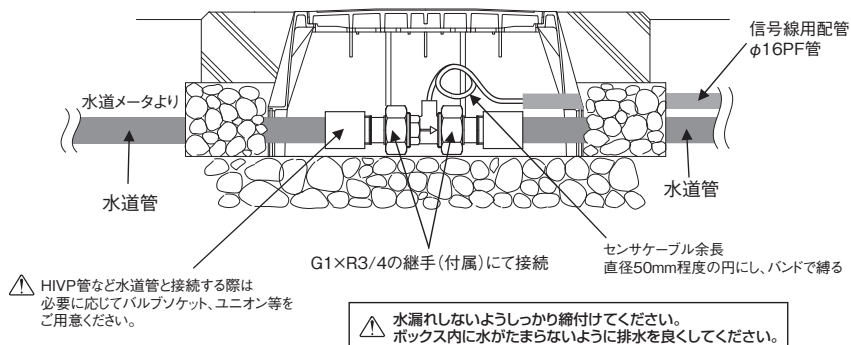
■ アクアセンサ(主幹)取付・施工

アクアセンサ(主幹) 姿図

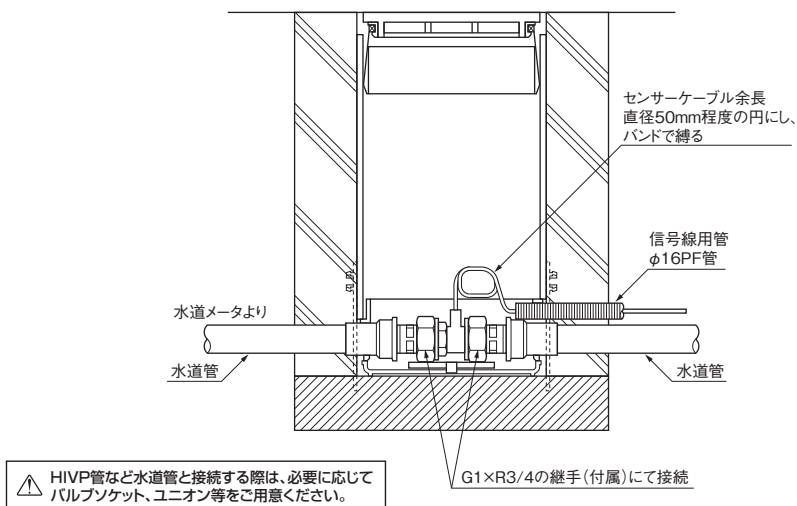
品番:AS-WFC/ GG-S
 付属継手 装着姿図



量水器BOX 施工



量水器BOX(丸型) 施工



計測コントローラ

1.据付

チェック

- 計測コントローラの近くにガス類容器や引火物をおいていませんか。
- 湿気がなく、水のかからないところに設置していますか。
- 取扱説明書(施工編)に従い、確実に設置、固定されていますか。

2.配線

チェック

- 計測コントローラの電源はAC100V配線をしていますか。
- 電源電線は確実に接続されていますか。
- 主幹CTの取付方向は正しいですか。
- 各CTは正確に取付られていますか。
- LANケーブルは確実に配線をしていますか。
- アクアセンサ設置の場合、取扱説明書(施工編)に従い正しく施工されていますか。

<据付工事店様記入>

電気工事 店名		電話番号		担当者名	
------------	--	------	--	------	--

アクアセンサ

1.据付

チェック

- 取扱説明書(施工編)に従い、確実に取付されていますか。
- 水漏れしていませんか。
- メンテナンスを考慮し取り付けていますか。
- 寒冷地の場合、凍結しないように対策をしていますか。
- ゴミ詰まりがないか確認しましたか。

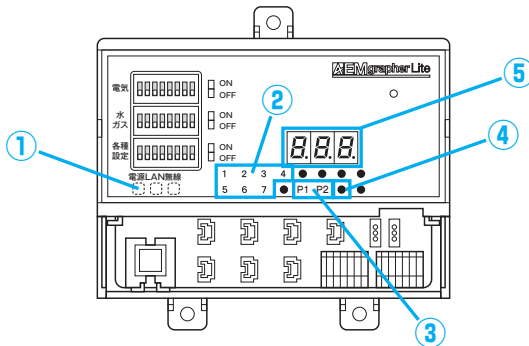
<据付工事店様記入>

水道工事 店名		電話番号		担当者名	
------------	--	------	--	------	--

19 動作確認

各設定後の動作確認について

設定が完了した後、接続したCTが正常に計測出来ているか機器本体のLEDで確認を行います。



確認手順

- ①AC100V電源入力を確認する：①の電源LEDが点灯しているか確認してください。
L1相より電源を入れているか確認してください。

- ②CT入力用LED表示を確認する：機器本体下部のCT端子（1～7番端子）に接続されたCTが始動電力以上を計測した場合に点灯します。CTを接続した端子番号の数字が点灯していない場合はCTの施工を確認してください。

※各CTの始動電力

機能	計測開始	機能	計測開始
主幹	1φ3W 120A 40W～	蓄電池特定回路	1φ3W 30A 40W～
太陽光 単2連系	1φ2W 120A 40W～	分岐100V	1φ2W 30A 20W～
太陽光 単3連系	1φ3W 120A 40W～	分岐200V	1φ2W 30A 50W～
ガス発電	1φ3W 60A 40W～	主幹1次接続機器	1φ2W 150A 50W～
蓄電池	1φ3W 60A 40W～		

- ③水・ガス計測用LED表示を確認する：機器本体下部のパルス端子（P1、P2の2箇所）に接続されたアクアセンサ、パルス発信機付ガスメータを計測した場合に点灯します。数字が点灯していない場合は施工を確認してください。

<※2台設置の場合>

- ④増設機器 通信確認用LEDを確認する：本体2台設置で正常に通信ができている場合に点灯します。点灯していない場合は施工を確認してください。

- ⑤7セグメント表示を確認する：下記エラー表示があらわれた場合は、各機器ならびに各接続やDIPスイッチを確認してください。

【1××】設定関係（誤設定が解消された場合はエラーコードが消えます）

101	2台目に蓄電池特定回路を設定しているにも関わらず1台目に蓄電池設定が無い場合
102	2台目ともガス発電設定をしていた場合

【2××】計測関係（計測が開始された場合はエラーコードが消えます）

201	主幹設定がされていて、主幹が未計測の場合
202	PV設定がされていて、PVが24時間未計測の場合
203	ガス発電設定がされていて、ガス発電が24時間未計測の場合
204	蓄電池が設定されていて、充電電が24時間未計測の場合
205	パルス入力があるにも関わらず「入力なし」設定の場合

△注意 上記以外エラーコードは、ネットワーク開通後しか解除できません。ですので、上記エラーコードが表示されなければ工事完了となります。

お問い合わせ先

- 施工に関するお問い合わせ

➡ **因幡電機産業株式会社 宛**

※ 下記参照

- エコナビブランドに関するお問い合わせ

➡ **ナビ・コミュニティ販売株式会社 宛**

TEL 052-682-6789

販売元 **因幡電機産業株式会社**
環境システム事業部

大阪 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-11-14

☎ (06) 4391-1911

東京 / 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川 6F

☎ (03) 5783-1738

名古屋 / 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル 5F

☎ (052) 541-1785

ホームページアドレス <http://www.abaniact.com/aem/lite>

製造元 **大崎電気工業株式会社**
営業本部 システム・機器部 営業課

〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア ☎ (03) 3443-7176-7177

この取扱説明書に記載している製品名は、各社の商標、または登録商標です。
なお、本文中にTMおよびRマークは明記しておりません。

お願い

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または、販売店以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を廃棄する場合には、廃棄時点における関係法令に従って廃棄してください。